

土木学会関東支部 第 59 回支部総会

次 第

日 時： 2022 年 5 月 23 日（月） 15：30～17：00

場 所： 主婦会館及びオンライン

◆特別講演

講師：土木学会次期会長 上田多門 氏

題目：「日本の土木の実力とグローバル世紀での課題」

◆議事

【報告事項】

1. 2021 年度事業報告及び決算報告
2. 2022 年度支部長、商議員及び監査役
3. 2022 年度事業計画及び予算
4. 関東支部栃木会の会則改正
5. 令和 3 年度全国大会報告
6. 「コロナ後の土木のビッグピクチャー」における支部活動報告
7. 第 23 回「土木のある風景」写真コンテスト入賞作品
8. その他

◆2021 年度関東支部事業報告

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

1. 第 58 回支部総会 (2021 年 5 月 19 日) 土木学会講堂及びオンライン

出席者 77 名

—特別講演—

講師：土木学会次期会長 谷口博昭 氏

題目：「今、転換の時。土木のビッグピクチャーを～開かれた魅力溢れる土木学会へ～」

—報告事項—

- (1) 2020 年度事業報告及び決算報告
- (2) 2021 年度商議員及び監査役
- (3) 2021 年度事業計画及び予算
- (4) 令和 3 年度全国大会準備状況
- (5) インフラパートナー制度
- (6) 関東支部山梨会の会則改定
- (7) 第 22 回「土木のある風景」写真コンテスト入賞作品

2. 会議等

- (1) 商議員会 (支部長、商議員、幹事長、副幹事長) 土木学会 AB 会議室及びオンライン 出席者 (委任状を含む) 46 名

第 1 回 2022. 2. 9 <決議事項>

- ① 2021 年度事業報告及び決算 (見込み)
- ② 2022 年度事業計画及び予算
- ③ 令和 4 年度支部長候補の選任
- ④ 土木学会関東支部栃木会の会則改定

<報告事項>

- ① 令和 3 年度土木学会全国大会の開催結果
- ② 会長プロジェクト「土木のビッグピクチャー」における活動状況
- ③ 国土交通省北陸地方整備局との災害協定締結

第 2 回 2022. 4 メール審議

<決議事項>

- ① 2022 年度・2023 年度関東支部商議員・監査役

- (2) 全体幹事会 (全幹事) 1 回

出席者 59 名

第 1 回 2021. 7. 7 土木学会 AB 会議室及びオンライン

- ① 支部長挨拶
- ② 自己紹介
- ③ 各分会・分会 2021 年度活動進捗状況
- ④ 令和 3 年度土木学会全国大会準備状況
- ⑤ 令和 3 年度会長プロジェクト
- ⑥ 関東支部創立 60 周年記念事業

(3) 運営幹事会（支部長、幹事長、副幹事長、主査、副主査、各分会幹事）2 回

出席者延べ 38 名

第 1 回 2021. 4. 21 土木学会講堂及びオンライン

- ① 2020 年度事業報告及び 2021 年度事業計画（各分会・委員会・分会）
- ② 2021 年度コンクリートカヌー大会について
- ③ 2020 年度第 1 回商議員会報告
- ④ 土木学会全国大会準備状況
- ⑤ 関東支部総会案内

第 2 回 2021. 12. 21 主婦会館及びオンライン

- ① 2021 年度事業報告及び 2022 年度事業計画（各分会・委員会・分会）
- ② 令和 3 年度土木学会全国大会報告
- ③ 会長 P J 「土木ビッグピクチャー」における活動状況
- ④ 関東支部 2021 年度決算見込み及び 2022 年度予算案

(4) 企画部会 4 回

出席者延べ 65 名

第 1 回 2021. 9. 28 オンライン

- ① ビッグピクチャー活動の趣旨説明
- ② 関東支部でのビッグピクチャーWG活動

第 2 回 2021. 11. 9 関東支部及びオンライン

- ① ビッグピクチャー活動の活動計画の報告（部会、分会、S C）
- ② ビッグピクチャー活動に対する意見交換

第 3 回 2022. 1. 17 関東支部及びオンライン

- ① ビッグピクチャー活動の中間報告（部会、分会、S C）
- ② 「東京のビッグピクチャーを考える」意見交換

第 4 回 2022. 2. 17 関東支部及びオンライン

- ① 会員増強に関する支部での取組み
- ② ビッグピクチャー活動の中間報告（部会、分会、S C）
- ③ 「東京のビッグピクチャーを考える」意見交換

(5) 技術情報部会 9 回

出席者延べ 96 名

第 1 回 2021. 4. 23 関東支部及びオンライン

- ① 前回議事録の確認
- ② 技術士二次試験講習会（4 月 9 日）の結果報告
- ③ 技術士二次試験直前講習会（6 月 11 日）について
- ④ 全国大会展示班作業について

第 2 回 2021. 6. 18 関東支部及びオンライン

- ① 前回議事録の確認
- ② 技術士二次試験直前講習会（6 月 11 日）結果報告
- ③ 全国大会展示班作業について
- ④ 次回講習会テーマについて

第 3 回 2021. 7. 16 関東支部及びオンライン

- ① 前回議事録の確認

② 全国大会展示班作業について（情報提供状況）

③ 次回講習会テーマについて

第4回 2021.9.3 関東支部及びオンライン

① 前回議事録の確認

② 全国大会展示班作業について

③ 次回講習会テーマについて

第5回 2021.10.8 関東支部及びオンライン

① 前回議事録の確認

② ビッグピクチャー活動について

③ 次回講習会テーマについて

第6回 2021.11.12 関東支部及びオンライン

① 前回議事録の確認

② ビッグピクチャー活動（次回講習会）について

第7回 2021.12.10 関東支部及びオンライン

① 前回議事録の確認

② 次回講習会（ビッグピクチャー活動）について

③ 技術士二次試験講習会（4月開催）について

第8回 2022.2.4 関東支部及びオンライン

① 前回議事録の確認

② 2月10日講習会について

③ ビッグピクチャー活動について

④ 4月8日技術士二次試験講習会について

第9回 2022.3.4 関東支部及びオンライン

① 前回議事録の確認

② ビッグピクチャー活動について

③ 4月8日技術士二次試験講習会について

④ 技術士二次試験直前講習会(6月)について

(6) 学術研究部会 6回（プログラム編成会議含む）

出席者延べ104名

第1回 2021.9.2 オンライン

① 部会メンバーの確認および自己紹介

② 民間からの副主査選出について

③ 幹事・委員の役割分担について

④ 部会の活動方針

⑤ 第48回技術研究発表会の開催報告

⑥ 第49回技術研究発表会の開催案

⑦ 業務委託について

⑧ 2021年度年間スケジュール

⑨ 土木学会全国大会について

第2回 2021.11.25 オンライン

- ① 前回議事録の確認
- ② 幹事・委員名簿、役割分担の確認
- ③ 第49回技術研究発表会の開催案
- ④ 第49回技術研究発表会の発表論文募集（HP）案
- ⑤ 土木学会関東支部ビッグピクチャー活動について
- ⑥ 業務委託見積書
- ⑦ 2021年度年間スケジュール
- ⑧ プログラム編成(次回部会)手順案

第3回 2022.1.25 オンライン

- ① 前回議事録の確認
- ② 幹事・委員名簿、部門別名簿
- ③ 発表 Web サイト
- ④ 第49回関東支部技術研究発表会開催概要
- ⑤ ビッグピクチャー特別講演会&討論会について
- ⑥ 第49回関東支部技術研究発表会申し込み状況等
- ⑦ プログラム編成作業（スケジュール確認）

第4回 2022.2.28 オンライン

- ① 前回議事録の確認
- ② ビッグピクチャー特別講演会&討論会について
- ③ 第49回関東支部技術研究発表会について

第5回 2022.3.10 オンライン

優秀発表者選考

第6回 2022.3.28 オンライン

- ① 議事録の確認
- ② 次年度幹事校について
- ③ 第49回技術研究発表会参加者数など
- ④ 第49回技術研究発表会 反省点・検討事項、次年度への引継ぎ

(7) 広報部会 10回

出席者延べ162名

第1回 2021.5.24 関東支部及びオンライン

- ① メンバー自己紹介、役割分担の確認
- ② 令和3年度活動計画
- ③ 前回議事録確認
- ④ コンクリートカヌー大会中止の経緯及び代替大会開催について
- ⑤ 親子感想文イベント アンケート結果について
- ⑥ メルマガ配信手順
- ⑦ 第18回親子見学会の準備
- ⑧ 次回の部会開催日の確認

第2回 2021.6.15 オンライン

- ① 前回議事録確認

- ② コンクリートカヌー大会代替大会開催について
- ③ 親子見学会について
- ④ 第14回どぼくカフェについて
- ⑤ 次回の部会開催日の確認

第3回 2021.7.13 オンライン

- ① 前回議事録の確認
- ② コンクリートカヌー大会代替大会開催について
- ③ 第14回どぼくカフェについて
- ④ 次回の部会開催日の確認

第4回 2021.8.24 オンライン

- ① 前回議事録確認
- ② コンクリートカヌー大会代替大会について
- ③ 第14回どぼくカフェについて
- ④ 親子見学会（代替イベント）について
- ⑤ 次回の部会開催日の確認

第5回 2021.9.22 オンライン

- ① 前回議事録確認
- ② コンクリートカヌー大会代替大会について
- ③ 第14回どぼくカフェについて
- ④ 親子見学会（代替イベント）について
- ⑤ 次回の部会開催日の確認

第6回 2021.10.21 関東支部及びオンライン

- ① 前回議事録確認
- ② コンクリートカヌー大会代替大会について
- ③ 第14回どぼくカフェについて
- ④ 親子見学会（代替イベント）について
- ⑤ 次回の部会開催日の確認

第7回 2021.11.8 関東支部及びオンライン

- ① 前回議事録確認
- ② コンクリートカヌー プレゼンテーション大会について
- ③ 親子見学会（代替イベント）について
- ④ 次回の部会開催日の確認

第8回 2021.12.14 関東支部及びオンライン

- ① 前回議事録確認
- ② コンクリートカヌー プレゼンテーション大会実施報告
- ③ 絵本感想文イベントについて
- ④ スチューデントチャプターの現場見学活動
- ⑤ ビッグピクチャー討議
- ⑥ 次回の部会開催日の確認

第9回 2022.1.27 オンライン

- ① 前回議事録確認
- ② 絵本感想文イベントについて
- ③ ビッグピクチャー討議
- ④ 次回の部会開催日の確認

第10回 2022.3.3 オンライン

- ① 前回議事録確認
- ② 絵本感想文イベントについて
- ③ ビッグピクチャー発表内容
- ④ コンクリートカヌー大会 開催判定基準
- ⑤ 建設技術展への協力依頼
- ⑥ 次回の部会開催日の確認

(8) 交流部会 11回

出席者延べ86名

第1回 2021.4.22 オンライン

- ① 担当割りについて
- ② 談話会について
- ③ 第22回写真コンテストについて
- ④ 若手技術者交流サロンについて
- ⑤ 現場見学会について
- ⑥ 令和3年度全国大会について

第2回 2021.5.20 オンライン

- ① 談話会について
- ② 若手技術者交流サロンについて
- ③ 現場見学会について
- ④ 第22回写真コンテストについて
- ⑤ 令和3年度全国大会について

第3回 2021.6.24 オンライン

- ① 談話会について
- ② 若手技術者交流サロンについて
- ③ 現場見学会について
- ④ 令和3年度全国大会について
- ⑤ 建設技術展2021について

第4回 2021.8.5 オンライン

- ① 談話会について
- ② 若手技術者交流サロンについて
- ③ 現場見学会について
- ④ 令和3年度全国大会について
- ⑤ 建設技術展2021について

第5回 2021.9.2 オンライン

- ① 談話会（次回）、（次回以降）について
- ② 若手技術者交流サロンについて
- ③ 現場見学会について
- ④ 令和3年度全国大会について
- ⑤ 建設技術展 2021 について（11/25～11/26）

第6回 2021.10.7 オンライン

- ① 関東支部ビッグピクチャー活動について
- ② 談話会について
- ③ 若手技術者交流サロンについて
- ④ 現場見学会について
- ⑤ 建設技術展 2021 について（11/25～11/26）

第7回 2021.11.4 関東支部及びオンライン

- ① 関東支部ビッグピクチャー活動について
- ② 談話会について
- ③ 現場見学会について
- ④ 第23回写真コンテストについて
- ⑤ 建設技術展 2021 について

第8回 2021.12.2 関東支部及びオンライン

- ① 関東支部ビッグピクチャー活動について
- ② 談話会について
- ③ 現場見学会について
- ④ 第23回写真コンテストについて
- ⑤ 建設技術展 2021 について

第9回 2022.1.13 関東支部及びオンライン

- ① 関東支部ビッグピクチャー活動について
- ② 談話会について
- ③ 第23回写真コンテストについて
- ④ 現場見学会について

第10回 2022.2.24 関東支部及びオンライン

- ① 関東支部ビッグピクチャー活動について
- ② 談話会について
- ③ 第23回写真コンテストについて
- ④ 現場見学会について

第11回 2022.3.24 関東支部及びオンライン

- ① 関東支部ビッグピクチャー活動について
- ② 談話会について
- ③ 第23回写真コンテストについて
- ④ 現場見学会について

(9) 支部選奨土木遺産選考委員会 3回

出席者延べ42名

第1回 2021.5.25～6.28 メール審議

○以下の5件を支部推薦として審議のうえ支部推薦として決定

- ①渡良瀬川上流域足尾の砂防堰堤群（栃木県）
- ②円上寺隧道（新潟県）
- ③塔ノ沢発電所と関連施設（神奈川県）
- ④六郷水門（東京都）
- ⑤栗尾沢砂防施設群（埼玉県）

第2回 2021.12.21 オンライン

- ①2021年度認定各遺産の認定書授与式報告
- ②2022年度の推薦に係る各委員からの提案および概略審議
- ③2022年度土木遺産支部選考委員の交代について

第3回 2022.2.15 オンライン

- ①2022年度選奨土木遺産の支部推薦を審議

(10) 関東支部役員候補者選考委員会 1回

出席者14名

第1回 2021.10.27 2022年度役員候補者の選考について

(11) 令和3年度土木学会全国大会実行委員会 2回

出席者延べ96名

第2回 2021.8.27 関東支部及びオンライン

- ① 実行委員長挨拶
- ② 令和3年度土木学会全国大会概要について
- ③ 令和3年度土木学会全国大会予算(案)について
- ④ 関東支部長挨拶

第3回 2021.12.7 主婦会館及びオンライン

- ① 令和3年度土木学会全国大会概要報告
- ② 令和3年度収支決算【全国大会事業】について
- ③ 令和3年度収支決算【全国大会事業】の監査について
- ④ 令和3年度土木学会全国大会統括

(12) 令和3年度全国大会実行委員会幹事会 3回

出席者延べ72名

第4回 2021.5.19 本部講堂及びオンライン

- ① 土木学会全国大会開催日程・開催方法について
- ② 年次学術講演会の運営会社について
- ③ 基調講演・特別講演・全体討論会について
- ④ ポスターについて
- ⑤ 各分会、各班の状況・調整事項について

第5回 2021.6.16 関東支部及びオンライン

- ① 6月8日（火）本部との打ち合わせ結果について
- ② 各分会、班の状況について

第6回 2021.7.29 東海大学湘南キャンパス

- ① 進捗状況（各班）について
- ② 実施計画書（各班）について

3. 講習会

(1) 講習会「土木技術者に求められる資質と素養」 【技術情報部会】

①技術士第二次試験受験のための実践講習会（演習付） 第 32 回

参加者 114 名

期 日：2021 年 4 月 9 日（金）

開催方法：土木学会講堂（人数限定）及びオンライン

講演題目および講師：

- ・ 二次試験の重要ポイント、骨組みシートを使った合格論文の設計

（有）佐藤 R&D 代表取締役

佐藤国仁 氏

- ・ 選択科目Ⅲ（課題解決問題）の解答評価

（株）協和コンサルタンツ生産管理室課長

杉内正弘 氏

- ・ 選択科目Ⅱ（専門知識及び応用能力）の解答評価

杉内正弘 氏

- ・ 必須科目Ⅰ（択一式）の解答評価、今後の試験準備

杉内正弘 氏

②技術士第二次試験受験のための直前講習会（建設部門模擬試験付） 第 13 回

参加者 71 名

期 日：2021 年 4 月 26 日（月）～6 月 1 日（金）

開催方法：オンライン

講習手順：・教材の配信

- ・ 技術士論文の作成方法（オンライン受講—1）YouTube 配信動画

- ・ 模擬試験の実施

- ・ 論文評価方法のポイント（オンライン受講—2）関東支部よりライブ配信

(2) 講習会「この国の未来の絵姿（ビッグピクチャー）を考えよう」 【技術情報部会】

参加者 76 名

ービッグピクチャープロジェクトー

期 日：2022 年 2 月 10 日（木）

開催方法：土木学会講堂よりオンライン配信

講 師：国土交通省国土政策局 総合計画課 国土政策企画官 坂本 渉 氏

NPO 法人 Green Connection TOKYO 代表理事 佐藤留美 氏

株式会社第一プログレス代表取締役社長／TURNS プロデューサー 堀口正裕 氏

4. 技術研究発表会 【学術研究部会】

第 49 回技術研究発表会

(1) 技術研究発表会

期 日：2022 年 3 月 8 日（火）～10 日（木）

開催方法：オンライン

申 込 数：398 編

<優秀発表者賞受賞>：27 名

第Ⅰ部門 川田草貴 中央大学大学院

白河拓丈 東京都立大学

仲田清夏 防衛大学校

渡邊英吾 茨城大学

第Ⅱ部門	石塚舜基	日本大学
	津田妃奈子	中央大学
	福島千乃	中央大学
	小林道彰	茨城大学大学院
	平林 空	東京都立大学大学院
第Ⅲ部門	後藤聖也	茨城大学
	福野太一	防衛大学校
	中村裕貴	早稲田大学大学院
	新井優希	中央大学
第Ⅳ部門	三好平祐	早稲田大学
	遊佐風子	日本大学
	西脇雅人	日本大学大学院
	松浦智亮	群馬工業高等専門学校
	大坪弘幸	中央大学
第Ⅴ部門	福井智大	防衛大学校大学院
	池田信義	千葉工業大学大学院
第Ⅵ部門	相馬佑成	JR 東日本
	川越健生	中央大学大学院
	福島輝宙	群馬大学
	鈴木雅大	中央大学大学院
第Ⅶ部門	各務絢香	東洋大学
	葛西樹生	木更津工業高等専門学校
	都築直仁	群馬工業高等専門学校

(2) ビッグピクチャー特別講演会・報告会

期 日：2022 年 3 月 8 日（火）

開催方法：オンライン

講演会：「関東地方のインフラ整備について」

講 師：見坂茂範 氏 国土交通省関東地方整備局企画部長

支部活動プレゼン及び討論会：企画部会、技術情報部会、交流部会、広報部会

新潟会、山梨会、群馬会、栃木会、茨城会

5. 談話会 【交流部会】

第1回 期 日：2021 年 5 月 26 日（月）

開催方法：オンライン

テ ー マ：「これからのインフラ整備とまちづくり ～上下水道、再開発事業の視点から～」

講 師：萩原清志 氏 東京都中央卸売市場 環境改善担当部長

参 加 者：51 名

第2回 期 日：2021 年 10 月 5 日（火）

開催方法：オンライン

テ ー マ：「チバニアンとは？ ～千葉時代と地磁気の逆転～」

講 師：岡田誠 氏 茨城大学理学部地球環境科学領域 教授

参 加 者：29 名

第 3 回 期 日：2022 年 3 月 2 日（水）

開催方法：土木学会 AB 会議室

テ ー マ：「空の移動革命への挑戦 ～日本発 空飛ぶクルマとドローンの開発～」

講 師：芳賀雄介 氏 (株)SkyDrive カーゴドローン部兼エアモビリティ事業部

営業・渉外チームリーダー

参 加 者：36 名

6. 若手技術者交流サロン 【交流部会】ービッグピクチャープロジェクトー

期 日：2022 年 2 月 9 日（水）

開催方法：関東支部及びオンライン

テ ー マ：50 年後の首都圏インフラのあるべき姿を考える

参 加 者：22 名

7. 見学会

(1) 土木の日現場見学会 ーオンライン見学会ー 【交流部会】

期 日：2021 年 11 月 18 日（木）

開催方法：オンライン

現 場：①新東名高速道路 川西工事 中日本高速道路(株)@神奈川県足柄上郡山北町

②前田建設工業(株) I C I 総合センター@茨城県取手市

開催協力：中日本高速道路(株)東京支社 秦野工事事務所

新東名高速道路 川西工事 清水建設・岩田地崎建設 J V

前田建設工業(株) I C I 総合センター

参 加 者：104 名

(2) 技術研究所見学会（土木の日行事：各企業と共催） 【広報部会】

見学先：1 研究所

(株)奥村組技術研究所 (11/11, 11/18)

参加者 58 名（地元小学生他）

8. 第 26 回土木系学生によるコンクリートカヌー大会 【広報部会】

開催方法：オンラインによるプレゼンテーション大会

参 加 校：栃木県立宇都宮工業高等学校 2 チーム、栃木県那須清峰高等学校、祐誠高等学校、

（申込順）横浜国立大学大学院、山梨県立峡南高等学校、群馬県立藤岡北高等学校、

群馬工業高等専門学校、日本大学理工学部交通システム工学科、東海大学

9 校・10 チーム

後 援：国土交通省関東地方整備局

協 賛：日刊建設工業新聞社

日刊建設通信新聞社

セメント新聞社

総合順位：1 位 横浜国立大学大学院 「Salty sludGes」

2 位 群馬工業高等専門学校 「たにがわ」

3 位 日本大学理工学部交通システム工学科 「船橋交通アトリエペンギン」

プレゼンテーション賞：栃木県立宇都宮工業高等学校 A 「雪月風花」

チームワーク賞（日刊建設業工業新聞社賞）：祐誠高等学校 「C-Hawks2021」

インパクト賞（日刊建設通信新聞社賞）：栃木県立宇都宮工業高等学校 B 「LIGHTNING」

セメント賞（セメント新聞社賞）：栃木県立那須清峰高等学校 「Blue Giraffe」

9. 2021 年度選奨土木遺産認定に伴う認定書授賞式 【選奨土木遺産支部選考委員会】

①遺産名：渡良瀬川上流域足尾の砂防堰堤群

受賞者：国土交通省関東地方整備局渡良瀬河川事務所

授賞式：11 月 5 日 栃木県総合文化センター

②遺産名：円上寺隧道

受賞者：新潟県

授賞式：11 月 22 日 新潟市民プラザ

③遺産名：塔ノ沢発電所と関連施設

受賞者：東京電力リニューアラルパワー 箱根町

授賞式：11 月 26 日 湯本富士屋ホテル

④遺産名：六郷水門

受賞者：国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所

授賞式：新型コロナ蔓延防止の観点から開催せず

⑤遺産名：栗尾沢砂防施設群

受賞者：埼玉県

授賞式：11 月 30 日 埼玉県土整備事務所

10. 写真コンテスト 【交流部会】

第 23 回「土木のある風景」写真コンテスト

テ ー マ：「土木のある風景」

応募期間：2021 年 11 月 18 日～2022 年 2 月 18 日

応募件数：327 件

審 査：交流部会幹事・広報部会幹事・学術研究部会幹事

最優秀賞：外川俊行 「メカニカルアート」

優 秀 賞：栗原正隆 「深秋落日（しんしゅうらくじつ）」

福田尚人 「クロスアーチ」

佳 作：長谷 薫 「青く凍る」

丸山賢治 「憩いの地」

Claudius Lai 「大渦と夢の架け橋」

1 1. 土木の絵本感想文 【広報部会】

「土木を感じる！親子で探検～絵本の世界～」

応 募 期 間：2021 年 11 月 18 日～2021 年 12 月 12 日

作品提出期日：2022 年 1 月 17 日

応 募 数：33 家族、34 作品

協 力：一般社団法人 土木技術者女性の会 東日本支部

入 賞 者：「りっぱな論文で賞」江崎晴香 8 歳

「大きなトンネルが掘れる賞」西雪敬士郎 11 歳

「すてきなみちができるで賞」石井咲衣 10 歳

「未来のトンネル博士賞」露崎月乃 10 歳

「模型でスゴイで賞」今村明生 8 歳

「パパの会社のお仕事勉強できたで賞」外木場幹奈 10 歳

「家族で散歩たくさん歩いたよ！賞」梅沢いろは 2 歳

「いっぱい見つけたで賞」渡邊健太郎 2 歳

1 2. スチューデントチャプター関連

(1) 登録活動校

- ・日本大学船橋部会（日本大学理工学部交通システム工学科及び同大学院理工学研究科社会交通工学専攻）
- ・SC 桜泉（日本大学生産工学部土木工学科及び同大学院生産工学研究科土木工学専攻）
- ・新緑会（東京都市大学建築都市デザイン学部及び同大学院工学専攻科都市工学専攻）
- ・TSC（東海大学工学部土木工学科及び同大学院工学専攻科土木工学専攻）
- ・中央大学理工学部都市環境学科 ※2021 年度新規登録

(2) 第 14 回どぼくカフェ 【広報部会】

期 日：2021 年 9 月 15 日（水）19：00～20：00

開催方法：オンライン

テ ー マ：「魅せる土木の応用講座：土木学会関東支部編」

講 演 者：吉川弘道 氏（東京都市大学名誉教授）

参 加 者：33 名

(3) ビッグピクチャープレゼン及び討論会

期 日：2022 年 3 月 28 日（月）10：00～12：00

開催方法：オンライン

参加チーム：日大理工_A・日大理工_B・SC 桜泉・ChuoT・ChuoC・中央 WEMJ

審査結果：1 位 日大理工_A、2 位 ChuoC、3 位 SC 桜泉

1 3. 大規模災害発生時における相互協力に関する協定

締結式：2022 年 1 月 31 日（オンライン）

協定締結機関：国土交通省北陸地方整備局

公益社団法人土木学会関東支部

公益社団法人土木学会中部支部

1 4. 広報活動

(1) 関東支部 Facebook「シビルネット関東」 【広報部会】

(2) メルマガ配信 【広報部会】

・配信は原則 2 回／月

1 5. 出版物

・第 49 回技術研究発表会講演概要集 (CD-ROM 版) 2022 年 3 月刊行 550 部

1 6. 協賛

・「建設技術展 2021 関東」日刊建設工業新聞社 【交流部会】

期 日：2021 年 11 月 26 日 (金) 13 時 30 分～15 時

場 所：サンシャインシティ展示ホール

テーマ：「外国人技術者がみたニッポン」

1 7. コロナ禍における主な影響行事

・形式変更：コンクリートカヌー大会 【広報部会】

・中止：親子見学会 (土木の日行事) 【広報部会】、教員免許状更新講習会 (シニアサロン) 【交流部会】

・回数減：企画講習会、談話会、どぼくカフェ、技術研究所見学会

1 8. 分会行事報告

【新潟会】

1) 通常総会 2021. 5. 20 新潟グランドホテル

2) 幹事会 5 回 (第 3 回は書面開催)

3) 講演会

① 第 1 回 (総会時 2021. 5. 20) 新潟グランドホテル 参加者 57 名

「新潟県で発生する鳥獣被害と土木分野との関係について」

長岡技術科学大学 工学研究科生物機能工学専攻 准教授 山本麻希 氏

② 第 2 回 (定例会時 2021. 11. 18) 新潟グランドホテル 参加者 60 名

「最近の地震、洪水、土砂災害から防災のあり方を考える」

新潟大学 災害・復興科学研究所 防減災技術研究部門 教授 ト部厚志 氏

③ 第 3 回 (「土木の日」記念講演会 2021. 11. 22) 新潟市民プラザ 参加者 135 名

「新潟駅周辺整備について」

新潟市 都市政策部 新潟駅周辺整備事務所 所長 今井利司 氏

「私とゴルフ」

プロゴルファー (現 LPGA 会員) 村口史子 氏

4) 第 39 回研究調査発表会オンライン発表会 (新潟大学担当) 2021. 11. 11

発表論文：97 件

5) 工事研修会 (オンライン) (2021. 11. 2) 参加者 38 名

黒部川電力(株) 新姫六発電所建設工事現場

6) 建設事業のイメージアップ活動（日建連北陸支部と共催）「土木の日」関連行事

① 講演会（第3回講演会参照）

7) ビッグピクチャーワーキング活動

①ワーキング会議 3回

②懇談会 2022.1.28 講師 新潟経済同友会

2022.2.2 講師 高根コミュニティラボ わあら

講師 ミカユニバーサルデザインオフィス

講師 エヌシーイー都市設計部

8) 新潟県内の土木施設を紹介する取り組み

HPにて新潟県内の土木施設を「新潟土木構造物めぐり」と題して52施設について紹介

9) その他

①土木学会選奨土木遺産認定書授与式（2021.11.22 土木の日記念講演会時）

「円上寺隧道」

【 山梨会 】

1) 通常総会 2021.4.14 岡島百貨店クリスタルホール

参加者 14 名

2) 幹事会 8回

3) 講習会 2022.2.25 県立文学館講堂

テーマ：「国土強靱化と ICT-FULL 活用工事」

①防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策とこれからの砂防

（一財）砂防フロンティア整備推進機構 今井一之 氏

②ICT-FULL 活用工事の事例紹介

清水建設(株)土木東京支店 ICT 推進部 野崎俊介 氏

4) 見学会 中止

【 群馬会 】

1) 通常総会 書面開催

2) 講演会

第20回コンクリート研究会 2021.12.10 オンライン開催

参加者約 80 名

「群馬県内におけるコンクリート構造物の研究活動に関する研究発表会」

3) 「土木の日」及び「土木とくらしの週間」関連行事

①高校生現場見学会 2021.10.27

高崎工業高等学校土木科1年生 36名

場所：上信自動車道（東吾妻町）・龍ヶ鼻橋下部工（中之条町）

②群馬テレビ放送：毎月最終金曜日 19時45分～20時00分

「ドボグリップ～私がキリトル土木の未来」

【 栃木会 】

1) 通常総会 2021.8.16 - 8.27 書面開催およびWeb 審議

2) 幹事会 2021.6.21 - 7.2 書面開催およびWeb 審議

3) 講演会、意見交換会 中止

4) 「土木の日」イベント行事 2021.11.5

①第 39 回研究発表会（栃木県建設技術協会共催）

場 所：栃木県立総合文化センター サブホール

出席者：270 名

②土木学会選奨土木遺産認定書授与式（CCI とちぎ共催）

5) 技術講習会

技術士を志す方への情報提供講座 2022. 2. 22

場 所：栃木県立総合文化センター

出席者：23 名

6) エクスカーション 2021. 12. 11

場 所：第二渡良瀬川橋梁、第一松木川橋梁、古河橋、渡良瀬川上流域足尾砂防堰堤群、外山原取水堰堤、
木戸ヶ沢水路橋、日光駅舎の見学

出席者：39 名

7) 各種事業への支援

第 26 回コンクリートカヌー大会（2021. 11. 13 開催，土木学会関東支部主催）への製作費等助成

助成団体：宇都宮工業高等学校、那須清峰高等学校

8) その他：広報活動

2021 年度会員名簿の作成およびホームページの更新

【 茨城会 】

1) 通常総会・特別講演会 2021. 7. 30 オンライン開催

参加者：135 名

2) 幹事会：3 回 オンライン開催 他メール審議

3) 講演会

①特別講演会 2021. 7. 31 オンライン

参加者：135 名

②建設技術講演会 2021. 11. 2 オンライン

参加者：87 名

4) イブニングセミナー 2022. 2. 4 茨城県産業会館

5) 広報関係

「茨城会」ホームページの運用

貸借対照表

2022年 3月31日現在
(単位：円)

科 目	2021年度	2020年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,156,205	10,141,032	2,015,173
前払金	72,078	92,537	△ 20,459
貯蔵品	16,000	24,650	△ 8,650
流動資産合計	12,244,283	10,620,852	1,623,431
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当預金	2,033,910	1,767,744	266,166
什器備品減価償却引当預金	176,791	64,893	111,898
記念事業積立預金	5,000,044	4,000,044	1,000,000
全国大会積立預金	5,649,834	7,649,834	△ 2,000,000
地域貢献資金	4,736,800	4,736,800	0
支部運営積立預金	15,500,000	7,500,000	8,000,000
特定資産合計	33,097,379	25,719,315	7,378,064
(3) その他固定資産			
什器備品	335,024	335,024	0
敷金	2,694,100	2,694,100	0
什器備品減価償却累計額	△ 176,791	△ 64,893	△ 111,898
その他固定資産合計	2,852,333	2,964,231	△ 111,898
固定資産合計	35,949,712	28,683,546	7,266,166
資産合計	48,193,995	39,304,398	8,889,597
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	119,436	118,180	1,256
前受金	670,000	722,000	△ 52,000
流動負債合計	789,436	840,180	△ 50,744
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,033,910	1,767,744	266,166
固定負債合計	2,033,910	1,767,744	266,166
負債合計	2,823,346	2,607,924	215,422
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	45,370,649	36,696,474	8,674,175
一般正味財産合計	45,370,649	36,696,474	8,674,175
(うち特定資産への充当額)	14,500,000	7,500,000	7,000,000
正味財産合計	45,370,649	36,696,474	8,674,175
負債及び正味財産合計	48,193,995	39,304,398	8,889,597

収支決算書

資料1-3

【関東支部】

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	2021年度決算額①	2020年度決算額②	差 異 (①-②)
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 特 定 資 産 運 用 収 入	512	980	▲ 468
(2) 事 業 収 入	2,362,840	1,422,870	939,970
① 行 事 収 入	2,362,840	1,422,870	939,970
講習会	1,554,000	665,010	888,990
技術研究発表会	808,840	757,860	50,980
談話会	0	0	0
② 土 木 の 日 行 事	0	0	0
(3) 補 助 金 収 入	0	0	0
(4) 雑 収 入	7,821	219	7,602
受 取 利 息	121	79	42
雑 収 入	7,700	140	7,560
(5) 他 会 計 繰 入 金 収 入	30,245,480	28,482,800	1,762,680
本 部 か ら の 繰 入 金	28,506,000	28,482,800	23,200
全 国 大 会 繰 入 金	1,739,480	0	1,739,480
事業活動収入計	32,616,653	29,906,869	2,709,784
2. 事業活動支出			
(1) 事 業 費 支 出	12,844,605	10,470,768	2,373,837
① 行 事 費	2,273,030	1,816,888	456,142
講習会	382,325	481,289	▲ 98,964
コンクリートカヌー大会	809,627	159,472	650,155
技術研究発表会	982,445	1,170,057	▲ 187,612
談話会	98,633	6,070	92,563
② 土 木 の 日 行 事	767,752	876,117	▲ 108,365
③ 調 査 研 究 費	829,663	96,018	733,645
運 営 幹 事 会	195,920	1,050	194,870
企 画 部 会	361,149	0	361,149
技 術 情 報 部 会	5,301	5,641	▲ 340
学 術 研 究 部 会	8,120	0	8,120
広 報 部 会	34,506	54,103	▲ 19,597
交 流 部 会	0	0	0
選 奨 土 木 遺 産 選 考 委 員 会	0	0	0
資 格 試 験 実 施 部 会	0	0	0
災 害 対 応 部 会	17,538	3,604	13,934
スチューデントチャプター	207,129	31,620	175,509
④ 表 彰 費	140,164	111,370	28,794
⑤ 研 究 等 助 成 金	20,000	120,000	▲ 100,000
⑥ 広 報 啓 発 事 業	304,700	829,180	▲ 524,480
⑦ 全 国 大 会 事 業	1,739,480	0	1,739,480
⑧ 事 業 管 理 費 支 出	6,769,816	6,621,195	148,621
職 員 給 与	3,219,298	3,204,430	14,868
法 定 福 利 費	545,010	540,379	4,631
福 利 厚 生 費	0	6,000	▲ 6,000
水 道 光 熱 費	84,164	89,461	▲ 5,297
備 品 消 耗 品 費	135,038	88,246	46,792
発 送 通 信 費	75,179	80,502	▲ 5,323
臨 時 雇 人 給	282,570	211,500	71,070
賃 借 料	2,225,486	2,179,204	46,282
事 務 O A 化 費	12,408	38,480	▲ 26,072
会 議 費	122,424	55,763	66,661
謝 金 ・ 賞 金	0	45,000	▲ 45,000
旅 費 交 通 費	4,300	28,250	▲ 23,950
広 報 宣 伝 費	0	0	0
手 数 料	48,366	45,676	2,690
雑 費	15,573	8,304	7,269

科 目	2021年度決算額①	2020年度決算額②	差 異 (①-②)
(2) 管 理 費 支 出	6,769,809	6,621,192	148,617
職 員 給 与	3,219,297	3,204,430	14,867
法 定 福 利 費	545,010	540,377	4,633
福 利 厚 生 費	0	6,000	▲ 6,000
水 道 光 熱 費	84,163	89,460	▲ 5,297
備 品 消 耗 品 費	135,036	88,244	46,792
発 送 通 信 費	75,178	80,504	▲ 5,326
臨 時 雇 人 給	282,570	238,940	43,630
賃 借 料	2,225,486	2,179,204	46,282
事 務 O A 化 費	12,408	38,480	▲ 26,072
会 議 費	122,423	46,853	75,570
謝 金 ・ 賞 金	0	45,000	▲ 45,000
旅 費 交 通 費	4,300	9,720	▲ 5,420
広 報 宣 伝 費	0	0	0
手 数 料 費	48,366	45,676	2,690
雑 費	15,572	8,304	7,268
(3) 他 会 計 繰 入 金 支 出	3,950,000	3,950,000	0
事業活動支出計	23,564,414	21,041,960	2,522,454
事業活動収支差額	9,052,239	8,864,909	187,330
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収支			
特 定 資 産 取 崩 収 入			
地域貢献積立預金	0	0	0
記念事業積立預金	0	0	0
全国大会積立預金	2,000,000	0	2,000,000
投資活動収入計	2,000,000	0	2,000,000
2. 投資活動支出			0
固 定 資 産 取 得 支 出			0
什器備品取得支出	0	335,024	▲ 335,024
特 定 資 産 積 立 支 出			0
記念事業積立預金	1,000,000	1,000,000	0
全国大会積立預金	0	2,000,000	▲ 2,000,000
地域貢献積立預金	0	1,000,000	▲ 1,000,000
支部運営積立預金	8,000,000	3,000,000	5,000,000
什器備品減価償却引当預金	111,898	64,893	47,005
退職給付引当預金	266,166	256,122	10,044
投資活動支出計	9,378,064	7,656,039	1,722,025
投資活動収支差額	▲ 7,378,064	▲ 7,656,039	277,975
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
< 当期収支差額 >	1,674,175	1,208,870	465,305
< 前期繰越収支差額 >	9,780,672	8,571,802	1,208,870
< 次期繰越収支差額 >	11,454,847	9,780,672	1,674,175

財産目録

資料1-4

2022年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	276,815
	預金	普通預金		9,239,815
		みずほ銀行四谷支店		9,239,815
		No. 1748232		
		郵便振替		2,639,575
		関東支部No. 00100-6		2,639,575
		-178832		
	支部前払金			72,078
	切手			45,018
	百周年記念切手			27,060
	貯蔵品			16,000
	100周年記念切手			16,000
流動資産合計				12,244,283
(固定資産) 特定資産	退職給付引当預金			2,033,910
	みずほ銀行四谷支店No. 6339683			2,033,910
	什器備品減価償却引当預金			176,791
	ミズホ6339683⑥			176,791
	記念事業積立預金			5,000,044
	みずほ銀行四谷支店No. 6339683			5,000,044
	全国大会積立預金			5,649,834
	みずほ銀行四谷支店No. 6339683			5,649,834
	地域貢献資金			4,736,800
	みずほ銀行四谷支店No. 6339683			4,736,800
	支部運営積立預金			15,500,000
	みずほ銀行四谷支店No. 6339683			15,500,000
	その他固定資産			
	什器備品			335,024
	敷金			2,694,100
	什器備品減価償却累計額			△ 176,791
固定資産合計				35,949,712
資産合計				48,193,995
(流動負債)	預り金			119,436
	源泉所得税			24,401
	介護保険料			795
	健康保管料			22,525
	厚生年金保険料			48,495
	雇用保険料			23,220
	支部前受金			670,000
	その他前受金			670,000
流動負債合計				789,436
(固定負債)	退職給付引当金			2,033,910
	事業管理費			1,016,954
	管理費			1,016,956
固定負債合計				2,033,910
負債合計				2,823,346
正味財産				45,370,649

2021 年度会計監査報告

証

2021 年度、事業報告、収支決算書を監査の結果、
適正に執行されていることを認めます。

2022 年 5 月 12 日

公益社団法人土木学会関東支部

監査役 三 澤 孝 史

2022 年 5 月 12 日

公益社団法人土木学会関東支部

監査役 永 矢 貴 之

土木学会関東支部 2022 年度支部長

氏名： 加藤 和彦 （カトウ カズヒコ）

所属： 清水建設株式会社 常務執行役員土木営業本部副本部長

◆2022度 関東支部役員名簿

支部長
幹事長
副幹事長
副幹事長

加藤和彦
武藤慎一
影山 雄
吉田征史

清水建設㈱ 常務執行役員土木営業本部副部長
山梨大学大学院 総合研究部工学域土木環境工学系教授
清水建設㈱ 土木技術本部プロジェクト技術部長
日本大学理工学部土木工学科准教授

I. 2022年度商議員

(任期2年) 新任:2022年度・2023年度:30名(内再任9名)、 留任:2021年度・2022年度:19名 合計49名

2021年度役員		所 属	退任(任期満了)	所 属
新 任	堀田昌英	東京大学大学院 工学系研究科社会基盤学専攻教授	古関潤一	東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤学専攻教授
	小根山裕之	東京都立大学 都市環境学部都市基盤環境学科教授	下村匠	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻教授
	森本章倫	早稲田大学 理工学術院 社会環境工学科教授	寺部慎太郎	東京理科大学 理工学部 土木工学科教授
	西村友良	足利大学 創生工学科建築・土木分野教授	長岡裕	長岡技術科学大学 環境社会基盤工学専攻教授
	野坂周子	国土交通省 大臣官房技術調査課技術企画官	野坂周子	再任
	木村康博	国土交通省 総合政策局公共事業企画調整課事業総括調整官	木村康博	再任
	見坂茂範	国土交通省 関東地方整備局企画部長	見坂茂範	再任
	淵上吾郎	(独)水資源機構 ダム事業部設計課長	淵上吾郎	再任
	中丸博史	神奈川県 県土整備局総務室企画調整担当課長	御園直樹	千葉県 県土整備部技術管理課長
	宮前勝美	群馬県 県土整備部技監	矢野昌	山梨県 県土整備部技術管理課課長
	石原正豊	国土交通省 港湾局技術企画課・技術企画調整官	有本彰男	国土交通省 港湾局技術企画課技術企画調査官
	佐野透	国土交通省 国土技術政策総合研究所管理調整部長	佐野透	再任
	堀川淳	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 建設企画部企画課長	堀川淳	再任
	上半文昭	(公財)鉄道総合技術研究所 鉄道力学研究部部長	神田政幸	(公財)鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部長
	谷中 慎	東日本高速道路㈱ 技術本部技術統括課課長	谷中 慎	再任
	井料青海	東日本旅客鉄道㈱ 建設工事部担当部長	井料青海	再任
	依田育也	東急電鉄㈱ 鉄道事業本部工務部統括部長	福田誠一	東京急行電鉄㈱ 執行役員交通インフラ事業部長
	山本 平	大成建設㈱ 土木本部洋上風力発電PJ部洋上風力計画室室長	新藤竹文	大成建設㈱ 技術センター土木技術研究所部長
	大場誠道	㈱大林組 土木本部生産技術本部統括部長	井上昭生	㈱大林組 土木本部生産技術本部統括部長
	上谷秀一	東亜建設工業㈱ 本社土木事業本部設計部副部長	斯波明宏	三井住友建設㈱ 土木本部土木営業部次長
	浅野 均	戸田建設㈱ 常務執行役員土木技術統轄部長	末松直紀	東急建設㈱ 土木事業本部営業統括部土木第一営業部長
	増田進弘	鉄建建設㈱ 土木本部副本部長執行役員	手塚広明	前田建設工業㈱ 執行役員経営革新本部副本部長
	手塚 仁	㈱熊谷組 土木事業本部副本部長	国枝重明	安藤・ハザマ 建設本部 建設統括部長
	豊田康嗣	(一材)電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部気象・流体科学部門研究部門長(副研究参事)	池口幸宏	電源開発㈱ 再生可能エネルギー事業戦略部長
	永矢貴之	㈱建設技術研究所 理事東京本社次長	永矢貴之	再任
	佐々木健二	パシフィックコンサルタンツ㈱ 技術理事	村上和史	パシコン技術管理㈱ 代表取締役社長
	萩原崇	日本工営㈱ 流域水管理事業本部河川水資源事業部河川部部長	陰山建太郎	日本工営㈱ 流域水管理事業本部河川水資源事業部副事業部長
	江野口玲	太平洋セメント㈱ 中央研究所研究開発推進部	田中祐人	JFEエンジニアリング㈱ 社会インフラ本部主席
	武藤慎一	山梨大学大学院 総合研究部工学域土木環境工学系教授	岩住知一	鹿島建設㈱ 土木管理本部プロジェクト推進部長(官庁)
	増田真一	㈱エイト日本技術開発 事業推進本部理事		
留 任	長田昌彦	埼玉大学大学院 理工学研究科環境システム工学系専攻教授		
	中藤誠二	関東学院大学 理工学部土木学系教授		
	川崎将生	国土交通省 国土技術政策総合研究所河川研究部水防災システム研究官		
	橋本敏一	日本下水道事業団 技術戦略部長		
	長谷部進一	埼玉県 県土整備部河川環境課長		
	星野晃秀	栃木県 県土整備部技術管理課長		
	佐竹義人	茨城県 土木部検査指導課技術管理統括監兼検査指導課長		
	岡村浩志	東京都 土木技術支援・人材育成センター所長		
	森橋真	国土交通省 関東地方整備局港湾空港部長		
	篠井隆志	首都高速道路㈱ 更新・建設部プロジェクト企画課長		
	荻野竹敏	東京地下鉄㈱ 鉄道本部工務部長		
	加藤和彦	清水建設㈱ 常務執行役員土木営業本部副部長		
	三澤孝史	㈱奥村組 執行役員土木管理本部土木企画部長		
	中桐秀雄	西松建設㈱ 土木事業本部土木設計部長		
	小西一生	㈱竹中土木 技術・生産本部技術開発部長		
	太鼓地敏夫	鹿島建設㈱ 執行役員土木管理本部土木企画部長		
	森本 良	東京電力HD㈱ 技術戦略ユニット土木・建築統括室土木・建築人勢センター土木グループマネージャー		
	對島光伸	セントラルコンサルタント㈱ 東京事業本部プロジェクト推進室長		
	鰐部隆正	㈱オリエンタルコンサルタンツ 執行役員関東支社長		

II. 2022年度監査役

三澤孝史	㈱奥村組 技術研究所土木技術開発専門部長
永矢貴之	㈱建設技術研究所 東京本社水システム部長

Ⅲ．幹事

運営幹事会:21名， 企画部会:17名， 技術情報部会:14名， 学術研究部会:18名， 交流部会:11名， 広報部会:20名， 土木学会認定技術資格試験実施部会:0名， 災害対応部会:11名， 選奨土木遺産支部選考委員会:14名

	氏 名	所 属	運営幹事会	企画部会	技術情報部会	学術研究部会	交流部会	広報部会	土木学会認定 資格実施部会	災害対応部会	選奨土木遺産 支部選考委員会
	青山定敬	日本大学生産工学部土木工学科						○			
新任	赤澤正彦	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 経営企画部広報戦略課						○			
退任	秋元健太郎	大成建設㈱ 土木営業本部首都圏第二営業部						—			
退任	朝香智仁	日本大学生産工学部土木工学科							—		
	浅見卓也	東京都 建設局 西多摩建設事務所	○		副主査						
	荒井 徹	東京都 土木技術支援・人材育成センター技術支援課						○			
	石井敬康	㈱ハヤテ・コンサルタント									○
退任	石井信行	山梨大学工学部土木環境工学科						—			
	石坂哲宏	日本大学理工学部交通システム工学科		○							
	伊東英幸	日本大学理工学部交通システム工学科		○							
	今村 崇	鹿島建設（株）土木管理本部土木企画部		○							
	岩川実郷	鉄建建設㈱ 土木本部地下・基礎技術部					○				
	岩住知一	鹿島建設㈱ 土木管理本部プロジェクト推進部(官庁)		○							
	上田將人	千葉県 県土整備部技術管理課									○
	植村飛鳥	㈱不動テトラ土木事業本部技術部技術室						○			
	馬野浩二	鹿島建設㈱土木管理本部プロジェクト推進部						○			
	海野寿康	宇都宮大学工学研究科地球環境デザイン学専攻				○				○	
退任	江口亜子	㈱富貴沢建設コンサルタンツ							—		
退任	大高正裕	清水建設㈱ 土木技術本部技術計画部	—	—				—			
新任	近江健吾	清水建設㈱ 土木技術本部企画管理部技術企画グループ	○	○				主査			
	長田哲平	宇都宮大学 工学研究科地球環境デザイン学専攻				○					
	小澤誠志	東京都立総合工科高等学校建築・都市学科						○			
退任	小田桐潔	国土交通省関東地方整備局企画部企画課	—					—			—
	鬼塚信弘	木更津工業高等専門学校環境都市工学科			○						
	影山 雄	清水建設㈱ 土木技術本部プロジェクト技術部	○	○							
	梶田佳孝	東海大学工学部土木工学科				○					
	金澤三夫	清水建設㈱ 土木技術本部技術計画部技術第2グループ			○						
	加納陽輔	日本大学生産工学部土木工学科		○							
	北原正博	㈱安藤・間 東京支店土木工務現場支援第二グループ				○					
	久保井公彦	鉄建建設㈱ 土木本部土木課	○					副主査			
	栗田有紀子	東急建設㈱ 管理本部人事部				○					
	栗原哲彦	東京都市大学建築都市デザイン学部					○		—		
	車谷麻緒	茨城大学工学部都市システム工学科	○			○				○	
	紅林章央	(公財)東京都道路整備保全公社 道路部橋梁担当	○								委員長
	黒木 幹	㈱福山コンサルタント リスクマネジメント事業部					○				
退任	小池清明	㈱フジタ 東京支店土木部				—					
	紅露一寛	新潟大学工学部工学科社会基盤工学プログラム		○							
	小島啓輔	清水建設㈱ 技術研究所				○					
退任	後藤 聡	山梨大学工学部土木環境工学科							—		
	後藤 剛	群馬県 県土整備部建設企画課									○
	小林加津春	新潟県 土木部監理課企画調整室									○
新任	小林孝行	㈱フジタ 東日本支店土木技術積算部				○					
新任	小松輝男	国土交通省 関東地方整備局企画部企画課	○					○			○
	齊藤準平	日本大学理工学部交通システム工学科	○					副主査			
	左高茂樹	㈱安藤・間 建設本部建設監理部							—		
	佐藤克己	日本大学生産工学部土木工学科		○							
新任	佐藤慶祐	国土交通省 関東地方整備局港湾空港部港政課						○			
退任	佐藤有治	大成建設㈱ 土木営業本部首都圏第二営業部		—							
	佐藤 諒	㈱安藤・間 建設部土木事業統括部技術第二部地盤グループ			○						
	真田純子	東京工業大学大学院環境・社会理工学院									○
	佐山貴宏	清水建設㈱ 土木総本部土木技術本部海洋プロジェクト室					○				
	澤野利章	日本大学生産工学部土木工学科構造工学研究室		○	○						
	渋谷裕一	日本交通技術㈱ 設計二部第四設計課						○			
	畠田真一	豊島区都市整備部都市計画課									○
	庄司靖章	JR東日本 東京工事事務所開発調査室			○						
退任	末武義崇	足利大学工学部創生工学科	—								

	氏 名	所 属	運営幹事会	企画部会	技術情報部会	学術研究部会	交流部会	広報部会	土木学会認定 資格実施部会	災害対応部会	選奨土木遺産 支部選考委員会
	杉山太宏	東海大学工学部土木工学科	○	—						副主査	
	菅 哲也	㈱富貴沢建設コンサルタンツ 道路部						○			
	鈴木善晴	法政大学デザイン工学部都市環境デザイン学科								○	
新任	鈴木琢也	千葉県 県土整備部河川環境課						○			
	関口吉男	ショーボンド建設㈱首都圏北陸支社									○
	関根啓一	埼玉県 企画局地域整備事務所					○				
	武村 武	日本大学生産工学部環境安全工学科				○					
	田地陽一	清水建設㈱ フロンティア開発室ベンチャービジネス部	○	○						主査	
	田島圭介	パシフィックコンサルタンツ㈱ 国土基盤技術本部						○			
	田原徹也	首都高速道路㈱ 更新・建設部プロジェクト企画課			○						
	玉嶋克彦	大成建設㈱ 東京支店土木部技術部	○	副主査							
	手計太一	中央大学 理工学部都市環境学科								○	
	寺本康宏	地方共同法人 日本下水道事業団					○				
	永井淳一郎	鹿島建設㈱ 東京土木支店土木部技術グループ	○	○			主査				
	中藤誠二	関東学院大学理工学部土木学系	○							○	副委員長
	仲村成貴	日本大学理工学部まちづくり工学科								○	
新任	中村文則	長岡技術科学大学	○							○	
退任	中村亮太	新潟大学工学部工学科社会基盤工学プログラム	—							—	
	成田岳文	国土交通省 関東地方整備局荒川下流河川事務所			○						
新任	西脇一樹	大成建設㈱ 土木営業本部首都圏営業部						○			
	丹羽宣道	㈱大林組 東京本社技術本部技術研究所地番技術研究部			○						
退任	野々山栄人	防衛大学校建設環境工学科				—					
	橋本紳一郎	千葉工業大学 創造工学部都市環境工学科				○					
退任	橋本隆雄	国土館大学理工学部理工学科まちづくり学系							—		
退任	長谷川由布子	大成建設㈱ 横浜支店川崎矢向計画用地更地化工事作業所					—				
新任	秦 康範	山梨大学大学院総合研究部工学域土木環境工学系						○			
退任	八島雄介	(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構東京支社計画部						—			
退任	羽鳥友和	国土交通省関東地方整備局港湾空港部港政課						—			
	久野健一郎	東京都 生活文化スポーツ局スポーツ施設部									○
	平川恭介	㈱日本港湾コンサルタント 設計本部第一設計部第二課						○			
	平川隆一	前橋工科大学工学部社会環境工学科	○							○	
	平栗昌明	㈱オリエンタルコンサルタンツ 関東支社構造部					○				
新任	日暮浩平	㈱近代設計 東京支社技術二部			○						
	福島二郎	足利大学工学部建築・土木分野									○
	福田 敦	日本大学理工学部交通システム工学科		○							
	藤井 直	オリエンタル白石㈱ 営業本部営業部	○			副主査					
	藤枝英樹	中央技術㈱設計部									○
	藤倉修一	宇都宮大学 地域デザイン科学部社会基盤デザイン学科	○								
新任	藤田クワデア	大成建設㈱ 技術センター社会基盤技術研究部地盤研究室					○				
退任	藤山知加子	横浜国立大学 都市科学部都市基盤学科		—							
退任	保坂成司	日本大学生産工学部環境安全工学科	—						—		
	保坂征司	大成建設㈱ 東京支店土木部技術部技術室			○				—		
	前羽 洋	J F Eエンジニアリング㈱ 社会インフラ本部改築事業部				○					
	宮里直樹	群馬工業高等専門学校	○			副主査					
新任	宮本慎太郎	防衛大学校 システム工学群建設環境学科				○					
	武藤慎一	山梨大学大学院総合研究部工学域土木環境工学系	主査	主査		主査				○	
	森實浩之	鹿島建設㈱ 横浜支店土木部プロジェクト推進グループ			○						
	森田義也	㈱協和コンサルタンツ 総括本部	○	○	主査						
	諸藤聡子	㈱協和コンサルタンツ 東日本支社都市整備部			○						
	八木澤順治	埼玉大学大学院理工学研究科				○					
	安井利彰	前田建設工業㈱ 技術研究所生産性革新技術研究室	○				副主査				
退任	山浦克久	㈱近代設計 管理本部	—	—	—						
	山口恵美	関東学院大学理工学部理工学科土木学系						○			
	山口大輔	㈱奥村組 東京支店土木営業第一部						○			
	山崎 仁	(一社) 湘南建設業協会									○
	山崎宏史	東洋大学理工学部都市環境デザイン学科				○					
	山中光一	日本大学理工学部交通システム工学科				○					
	吉田征史	日本大学理工学部土木工学科	○	○			○				

令和4年度幹事95名（令和4年5月）

◆2022 年度関東支部事業計画

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

1. 第 59 回支部総会

期 日： 2022 年 5 月 23 日（月） 主婦会館（オンライン併用）

報告事項

1. 2021 年度事業報告及び決算
2. 2022 年度事業計画及び予算
3. 2022 年度支部長
4. 令和 4 年度支部商議員及び役員・幹事
5. 令和 3 年度土木学会全国大会報告

2. 役員会

- | | |
|-----------------------------------|-------|
| (1) 商議員会 | 1～2 回 |
| (2) 運営幹事会（支部長、幹事長、副幹事長、主査、副主査、幹事） | 2～3 回 |
| (3) 担当部会・委員会（幹事、委員） | 適宜 |
| (4) 関東地区役員候補者選考委員会 | 1 回 |

3. 講習会 【技術情報部会】

- (1) 「土木技術者に求められる資質と素養」

一技術士第二次試験受験のための実践講習会 第 33 回一

期 日：2022 年 4 月 8 日（金） 9：30～17：00

開催方法：本部講堂

- (2) 他講習会 2～3 回

4. 講演会

状況に応じて開催

5. 第 50 回技術研究発表会 【学術研究部会】

期 日：2023 年 3 月

場 所：茨城大学

6. 見学会

- (1) 「土木の日行事」親子見学会 【広報部会】

期 日：2022 年 11 月

- (2) 「土木の日行事」現場見学会 【交流部会】

期 日：2022 年 11 月

7. 第 27 回土木系学生によるコンクリートカヌー大会 【広報部会】 ※実施方法検討中

期 日：2022 年 8 月 27 日

場 所：荒川貯水池「彩湖」

8. 第 24 回「土木のある風景」写真コンテスト【交流部会】

9. 「談話会」新テーマで 3～4 回程度開催 【交流部会】

10. どぼくカフェの開催【広報部会】

11. 外国人技術者交流サロン及び若手技術者交流サロンの開催【交流部会】

12. 土木の日行事

13. スチューデントチャプター活動支援

14. シニアサロン活動支援

15. 各分会活動に対する活動支援

16. 土木学会選奨土木遺産選考【選奨土木遺産選考委員会】

17. 関東支部 60 周年記念行事の準備活動

18. 企画助成の支援

19. メルマガ配信（2 回／月）【広報部会】

20. Facebook（関東シビルネット）・ホームページ運営【広報部会】

21. 分会事業計画

【新潟会】

(1) 第44回総会 2022. 5. 17 新潟グランドホテル

(2) 幹事会 4回程度

(3) 講演会 3回

(4) 第40回研究調査発表会 2022. 11 （長岡技術科学大学担当） 土屋雷蔵賞授与

(5) 建設事業イメージアップ活動（日本建設業連合会北陸支部との共催）

(6) 「土木の日」関連行事

①イメージアップ親子見学会

②講演会

③その他

(7) 研修会

(8) 定例会

(9) その他：①新潟県内の土木施設を新潟会のホームページで紹介

②女性技術者の職場環境作りや評価向上に向けた活動（情報の共有化）

③地域の発展に寄与するインフラ整備に関する広報活動の推進

【山梨会】

(1) 総会 2022. 4. 27 17：00～190：00

場所 岡島百貨店7階クリスタルホール（山梨県甲府市）

(2) 幹事会 11回：毎月開催を基本とする 参加者数 各回10～15名

(3) 講習会 2022. 7月か9月 参加者 150名程度

(4) 土木の日見学会 2022. 11月19日（土）予定 参加者 80名程度

(5) 第50回関東支部技術研究発表会 2023. 3 活動報告ポスター展示

【群馬会】

(1) 第34回通常総会 2022. 7. 11

(2) 講演会 参加者（50名程度） 1回程度

(3) 講習会 参加者（100名程度／回） 2回程度

(4) 見学会 参加者（40名程度／回） 2回程度

- (5) 「土木の日」 および「土木とくらしの週間」の関連行事として土木事業のPR活動 適宜
- (6) 懇親会および懇談会 適宜
- (7) 機関誌「群馬を拓く」を発行

【 栃木会 】

- (1) 総会 2022年8月 宇都宮東武ホテルグランデ
- (2) 幹事会 2022年6月 栃木県職員会館ニューみくら 他適宜
- (3) 講演会、意見交換会の実施
- (4) 現場見学会及びエクスカージョンの実施
- (5) 広報活動の積極的な展開、ホームページおよび会員名簿の更新
- (6) 「土木の日」 イベント事業・研究発表会の開催（共催：栃木県建設技術協会）
- (7) 技術講習会の実施
- (8) 各種講習会、シンポジウム等への参加・支援
- (9) 「ハイスクール世界サミット in 福島」参加支援

【 茨城会 】

- (1) 通常総会 2022. 7. 22 茨城県開発公社
- (2) 幹事会 3回程度
- (3) 講演会
 - 特別講演会（総会時・第23回建設技術講演会）
 - 第24回建設技術講演会 2022. 11
- (4) イブニングセミナー 3回程度
- (5) 土木の日記念見学会 2022. 11
- (6) 調査研究部会活動
 - ①2022年度土木学会選奨土木遺産の推薦及び次年度推薦候補の検討
 - ②茨城県建設フェスタへ部会活動内容を出展
 - ③現地見学会
 - ④選奨土木遺産認定書授与式
 - ⑤橋梁や河川に関するモニタリング技術の検討
 - ⑥茨城県における3Dセンシング技術普及に関する現状と課題の検討
- (7) その他
 - ①茨城会会報発行

収支予算書

【関東支部】

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	2022年度予算額①	2021年度予算額②	増減 (①-②)
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 特 定 資 産 運 用 収 入	0	0	0
(2) 事 業 収 入	2,965,000	2,955,000	10,000
① 行 事 収 入	2,850,000	2,850,000	0
講習会	1,650,000	1,650,000	0
技術研究発表会	1,120,000	1,120,000	0
談話会	80,000	80,000	0
② 土 木 の 日 行 事	115,000	105,000	10,000
(3) 補 助 金 収 入	0	0	0
(4) 雑 収 入	5,000	1,000	4,000
受 取 利 息	0	0	0
雑 収 入	5,000	1,000	4,000
(5) 他 会 計 繰 入 金 収 入	28,169,000	62,873,000	▲ 34,704,000
本 部 か ら の 繰 入 金	28,169,000	28,373,000	▲ 204,000
全 国 大 会 繰 入 金	0	34,500,000	▲ 34,500,000
事業活動収入計	31,139,000	65,829,000	▲ 34,690,000
2. 事業活動支出			
(1) 事 業 費 支 出	19,806,000	56,646,500	▲ 36,840,500
① 行 事 費	9,430,000	9,705,000	▲ 275,000
講習会	780,000	800,000	▲ 20,000
コンクリートカヌー大会	5,200,000	5,200,000	0
技術研究発表会	3,330,000	3,565,000	▲ 235,000
談話会	120,000	140,000	▲ 20,000
② 土 木 の 日 行 事	1,625,000	1,627,000	▲ 2,000
③ 調 査 研 究 費	1,133,000	1,187,000	▲ 54,000
運 営 幹 事 会	35,000	35,000	0
企 画 部 会	25,000	25,000	0
技 術 情 報 部 会	25,000	25,000	0
学 術 研 究 部 会	205,000	205,000	0
広 報 部 会	105,000	105,000	0
交 流 部 会	110,000	110,000	0
選 奨 土 木 遺 産 選 考 委 員 会	155,000	185,000	▲ 30,000
資 格 試 験 実 施 部 会	0	17,000	▲ 17,000
災 害 対 応 部 会	83,000	100,000	▲ 17,000
スチューデントチャプター	390,000	380,000	10,000
④ 表 彰 費	170,000	175,000	▲ 5,000
⑤ 広 報 啓 発 事 業	340,000	400,000	▲ 60,000
⑥ 全 国 大 会 事 業	0	36,500,000	▲ 36,500,000
全 国 大 会 費	0	34,500,000	▲ 34,500,000
予 備 費	0	2,000,000	▲ 2,000,000
⑦ 事 業 管 理 費 支 出	7,108,000	7,052,500	55,500
職 員 給 与	3,250,000	3,200,000	50,000
法 定 福 利 費	650,000	635,000	15,000
福 利 厚 生 費	3,000	5,000	▲ 2,000
備 品 消 耗 品 費	90,000	100,000	▲ 10,000
発 送 通 信 費	75,000	75,000	0
水 道 光 熱 費	90,000	122,500	▲ 32,500
臨 時 雇 人 給	250,000	190,000	60,000
賃 借 料	2,250,000	2,225,000	25,000
事 務 O A 化 費	30,000	25,000	5,000

科 目					2022年度予算額①	2021年度予算額②	増減 (①-②)
	費	議	会		200,000	250,000	▲ 50,000
	金	・	金		60,000	0	60,000
	旅	費	交		90,000	125,000	▲ 35,000
		手	通		50,000	75,000	▲ 25,000
			数	料	20,000	25,000	▲ 5,000
			雑	費			
(2) 管 理 費 支 出					7,108,000	7,052,500	55,500
	職	員	給	与	3,250,000	3,200,000	50,000
	法	定	福	利	650,000	635,000	15,000
	福	利	厚	生	3,000	5,000	▲ 2,000
	備	品	消	耗	90,000	100,000	▲ 10,000
	発	送	通	信	75,000	75,000	0
	水	道	光	熱	90,000	122,500	▲ 32,500
	臨	時	雇	人	250,000	190,000	60,000
			賃	借	2,250,000	2,225,000	25,000
	事	務	O	A	30,000	25,000	5,000
			会	議	200,000	250,000	▲ 50,000
	謝	金	・	賞	60,000	0	60,000
	旅	費	交	通	90,000	125,000	▲ 35,000
			手	数	50,000	75,000	▲ 25,000
				雑	20,000	25,000	▲ 5,000
				費			
(3) 他 会 計 繰 入 金 支 出					3,950,000	3,950,000	0
事業活動支出計					30,864,000	67,649,000	▲ 36,785,000
事業活動収支差額					275,000	▲ 1,820,000	2,095,000
II 投資活動収支の部							
1. 投資活動収支							
	特	定	資	産	0	0	0
			取	崩			
			収	入			
			記念事業積立預金		0	0	0
			全国大会積立預金		0	2,000,000	▲ 2,000,000
			支部運営積立預金		0	0	0
			地域貢献積立預金		50,000	50,000	0
投資活動収入計					50,000	2,050,000	▲ 2,000,000
固 定 資 産 取 得 支 出							
	什	器	備	品	0	0	0
			取	得			
			支	出			
2. 投資活動支出							
	特	定	資	産			
			積	立			
			支	出			
			記念事業積立預金		0	0	0
			全国大会積立預金		0	0	0
			地域貢献積立預金		0	0	0
			支部運営積立預金		0	0	0
			什器備品減価償却引当預金		65,000	0	65,000
			退職給付引当預金		260,000	230,000	30,000
投資活動支出計					325,000	230,000	95,000
投資活動収支差額					▲ 275,000	1,820,000	▲ 2,095,000
III 財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
	財	務	活	動	0	0	0
	収	入	計				
2. 財務活動支出							
	財	務	活	動	0	0	0
	支	出	計				
財務活動収支差額					0	0	0
< 当期収支差額 >					0	0	0
< 前期繰越収支差額 >					11,454,847	9,780,672	1,674,175
< 次期繰越収支差額 >					11,454,847	9,780,672	1,674,175

土木学会関東支部栃木会会則

土木学会関東支部栃木会会則

(名称)

第1条 この会は、土木学会関東支部栃木会（以下「本会」と称する。）という。

(目的)

第2条 本会は、土木工学及び土木事業に関する活動（事業）を行うことにより、土木工学の進歩及び土木事業の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行うことができる。

- (1) 土木工学及び土木事業に関する技術研究発表会、講演会、講習会及び視察見学会等の実施
- (2) 土木工学及び土木事業に関する調査、研究及び奨励、援助に関する事業
- (3) 土木工学及び土木事業に関する図書、その他資料の収集及び保管に関する事業
- (4) 土木工学及び土木事業の普及、広報に関する事業
- (5) 会員相互の親睦に関する事業
- (6) その他本会の目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 本会の会員は、次の4種とする。

- (1) 正会員 本会の目的に賛同し、栃木県内に在住または勤務する土木学会の会員（正会員、フェロー会員、名誉会員）
- (2) 学生会員 栃木県内の教育機関において、土木工学の課程を習得中の土木学会の学生会員
- (3) 個人会員 本会の目的に賛同する個人
- (4) 団体会員 本会の目的に賛同する団体

(入会と会費)

第5条 会員となるには、別に定める入会申込書に必要事項を記入提出し、幹事会の承認を得なければならない。

2 会員は、次の会費を納入しなければならない。

- (1) 正会員 土木学会正会員のため、会費を免ずる。
- (2) 学生会員 土木学会学生会員のため、会費を免ずる。

- (3) 個人会員 年会費 2,000 円とする。
- (4) 団体会員 年会費 1 口 10,000 円とする。

(退会)

第 6 条 会員は、次の場合に退会する。

- (1) 第 4 条各号に規定する資格をそれぞれ失ったとき。
- (2) 会員の氏名あるいは団体名、退会する旨と退会時期を明記した退会届
(書式自由) を提出の上、幹事会の承認を得たとき。

(除名)

第 7 条 本会は、次の場合には、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) 会員が本会の名誉を傷つけ又は本会の目的に反する行為をしたとき。

(会員資格の喪失)

第 8 条 前 2 条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第 5 条の支払義務を 1 年以上履行しなかったとき。
- (2) 破産したとき。
- (3) 当該個人会員が死亡し又は当該団体会員が解散したとき。

(役員)

第 9 条 本会は、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 若干名
- (3) 幹 事 長 1 名
- (4) 副 幹 事 長 1 名
- (5) 幹 事 若干名
- (6) 事 務 局 長 1 名
- (7) 事務局次長 1 名
- (8) 会 計 監 事 2 名

(役員を選任)

第 10 条 役員を選任方法は次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、正会員の中から総会において選任する。
- (2) 幹事長、副幹事長及び幹事は、会長が推薦し、総会の承認を得て決定す

る。

(3) 事務局長及び事務局次長は会長が委嘱する。

(4) 会計監事は、総会において選任する。

(役員の職務)

第 11 条 役員の職務は、次のとおりとする。

(1) 会長は、本会を代表し、会務を総理し、総会の議長となる。

(2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるときは、その職務を代理する。

(3) 幹事長は、会長の意を受けて幹事会を開き、本会の運営に当たる。

(4) 副幹事長は、幹事長を補佐し幹事長に事故のあるときには、その職務を代理する。

(5) 幹事は、幹事会の定めるところに従い会務の執行に当たる。

(6) 事務局長は、会長の指揮を受け本会の事務を処理し、会務の運営に当たる。

(7) 事務局次長は、局長を補佐し局長に事故のあるときには、その職務を代理する。

(8) 会計監事は、本会の会計監査を行う。

(役員の任期)

第 12 条 役員の任期は 2 年とする。ただし再任は妨げない。

(顧問)

第 13 条 本会は、顧問を若干名置くことができる。

2 顧問は、幹事会の同意を得て会長が委嘱する。

3 顧問は、会長の諮問に応ずる。

4 顧問に関する内規は、幹事会が定める。

(会議)

第 14 条 会議は、総会、幹事会とし、総会は会長が招集し、幹事会は幹事長が招集する。

2 総会は、毎年度当初及び必要に応じて開催し、議長は会長がこれに当たる。

3 総会は、会員の 2 分の 1 以上の出席で成立する。

4 票決権は正会員・学生会員・個人会員は 1 名 1 票、団体会員は 1 口 5 票とし、決定に当たっては、出席者の過半数以上の同意を得るものとする。

5 幹事会は、幹事長、副幹事長及び幹事で構成し、議長は幹事長が当たる。

6 幹事長は、必要と認めるときは、部会を設けることができる。

(事業計画、収支予算及び決算)

第 15 条 本会の事業計画、収支予算および決算は、会長が作成し、幹事会の過半数以上の同意を得て決定し、年度当初の総会において報告する。

(経費等)

第 16 条 本会の経費は、会費、関東支部からの交付金、援助金及び寄附金等をもって充てる。

(会計年度)

第 17 条 会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(会則の変更)

第 18 条 この会則の変更は、総会の議決を経て、関東支部商議員会の承認を得なければならない。

(事務局)

第 19 条 本会は宇都宮大学地域デザイン科学部に事務局を置く。

2 事務局は、事務局長の指揮をうけ本会の事務を処理する。

3 事務局には、若干名の事務局員を置く。

(付則)

1 この会則は、平成 8 年 10 月 18 日から施行する。

2 初年度の会長、副会長、幹事長、副幹事長、幹事及び会計監事は、本会設立準備会で推薦し、設立総会で選任する。

3 この変更会則は、令和 2 年 9 月 5 日から施行する。

4 この変更会則は、令和 3 年 9 月 1 日から施行する。

土木学会関東支部栃木会規約変更（案） 新旧対照条文（変更箇所のみ）

アンダーラインは変更箇所

改 正 (案)	現 行
土木学会関東支部栃木会 <u>会則</u>	土木学会関東支部栃木会規約
(名称) 第1条 (略)	(名称) 第1条 (略)
(目的)	(目的)
第2条 本会は、 <u>土木工学及び土木事業に関する活動（事業）を行うことにより、土木工学の進歩及び土木事業の発展に寄与することを目的とする。</u>	第2条 本会は、土木工学の進歩及び土木事業の発展に寄与することを目的とする。
(事業) 第3条 ～ (顧問) 第13条 (略)	(事業) 第3条 ～ (顧問) 第13条 (略)
(会議)	(会議)
第14条 (略)	第14条 (略)
2 総会は、毎年度当初及び必要に応じて開催し、議長は会長がこれに当たる。	2 総会は、毎年度当初及び必要に応じて開催し、議長は会長がこれに当たる。
3 <u>総会は、会員の2分の1以上の出席で成立する。</u>	なお、票決権は正会員・学生会員・個人会員は1名1票、団体会員は1口5票とし、決定に当たっては、出席者の過半数以上の同意を得るものとする。
4 <u>票決権は正会員・学生会員・個人会員は1名1票、団体会員は1口5票とし、決定に当たっては、出席者の過半数以上の同意を得るものとする。</u>	
5 幹事会は、幹事長、副幹事長及び幹事で構成し、議長は幹事長が当たる。	3 幹事会は、幹事長、副幹事長及び幹事で構成し、議長は幹事長が当たる。
6 幹事長は、必要と認めるときは、部会を設けることができる。	4 幹事長は、必要と認めるときは、部会を設けることができる。
(事業計画、収支予算及び決算) 第15条 (略)	(事業計画、収支予算及び決算) 第15条 (略)
(経費等)	(経費等)
第16条 本会の経費は、会費、 <u>関東支部からの交付金、援助金及び寄附金等をもって充てる。</u>	第16条 本会の経費は、会費、援助金及び寄附金等による。

(会計年度) 第17条 (略) (会則の変更) 第18条 この<u>会則</u>の変更は、総会の<u>議決を経て、関東支部商議員会の承認</u>を得なければならない。 (事務局) 第19条 (略) (付則) 1 この<u>会則</u>は、平成8年10月18日から施行する。 2 (略) 3 この<u>変更会則</u>は、令和2年9月5日から施行する。 <u>4 この変更会則は、令和3年9月1日から施行する。</u>	(会計年度) 第17条 (略) (規約の変更) 第18条 この規約の変更は、総会の同意を得なければならない。 (事務局) 第19条 (略) (付則) 1 この規約は、平成8年10月18日から施行する。 2 (略) 3 この<u>変更規約</u>は、令和2年9月5日から施行する。 (新設)
---	---



令和3年度土木学会全国大会 in 関東オンラインについて（報告）

1. 概 要

大会テーマ

これまでも、これからも生活経済社会の礎を築く土木
～市民と連携し、インフラのビッグ・ピクチャーを描こう～

1) 日 時 令和3年9月6日（月）～10日（金）

2) 場 所 東海大学湘南キャンパス1号館＋配信
第76回年次学術講演会
東海大学湘南キャンパス2号館＋配信
基調講演会・特別講演会・全体討論会・見学会
土木学会本部配信
国際ラウンドテーブル・研究討論会・国際若手技術者ワークショップ

3) 参加者数（視聴者数） ※令和3年9月14日時点

延べ参加者数： 26,859名（ の合計）

※オンライン参加数

日付	行事名	視聴数
9月6日、7日	研究討論会	6,824
9月8日	実行委員長挨拶・基調講演会	929
	特別講演①	981
	オンライン見学会	612
	特別講演②	531
	全体討論会	619
小計		10,496

日付	行事名	講演申込件数	聴講申込件数
9月9日、10日	年次学術講演会	3,236	1,316
参加者数(セッション計) 9/9:8,813 9/10:7,550 2日間合計:16,363			

3-2) オンデマンド視聴者数 ※令和3年10月22日時点

延べ視聴者数： 819名

日付	行事名	視聴数
9月21日～ 10月21日	実行委員長挨拶・基調講演会	257
	特別講演①	208
	オンライン見学会	160
	特別講演②	62
	全体討論会	132
小計		819

●大会開催時の参加人数とオンデマンド配信での視聴者合計： 27,678名

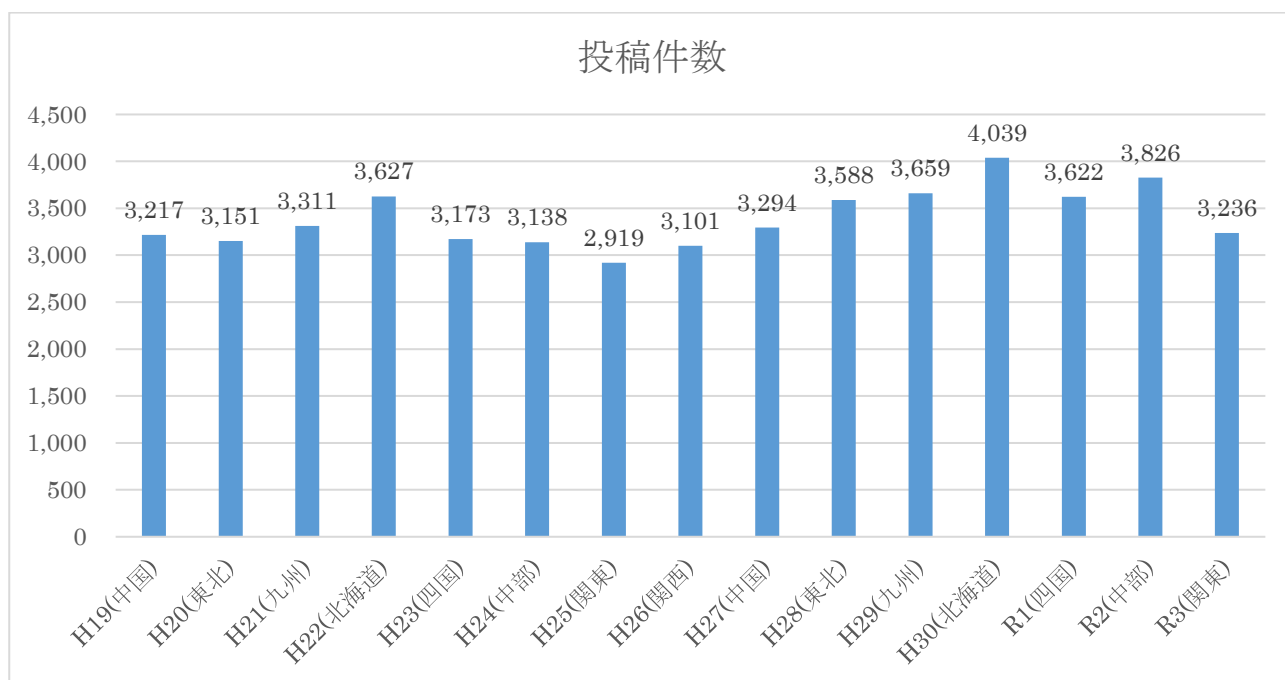
4) 全国大会 日程表

	第1日目 9月6日(月)	第2日目 9月7日(火)	第3日目 9月8日(水)	第4日目 9月9日(木)	第5日目 9月10日(金)
9:00					
10:00			9:30 実行委員長挨拶 9:35 基調講演会 45分 10:20	9:30 年次学術講演会① 80分 10:50	9:30 年次学術講演会⑥ 80分 10:50
11:00	10:00 研究討論会①～④ 120分	10:00 研究討論会⑬～⑮ 120分	10:50 特別講演会① 60分 11:50	11:10 年次学術講演会② 80分	11:10 年次学術講演会⑦ 80分
12:00	12:00	12:00	12:00 オンライン見学会 45分 12:45	12:30	12:30
13:00			13:00 特別講演会② 60分 14:00	13:00 年次学術講演会③ 80分 14:20	13:00 年次学術講演会⑧ 80分 14:20
14:00	13:00 研究討論会⑤～⑧ 120分	13:00 研究討論会⑯～⑲ 120分	14:10 全体討論会 100分 15:50	14:40 年次学術講演会④ 80分 16:00	14:40 年次学術講演会⑨ 80分 16:00
15:00	15:00	15:00	16:00 国際ラウンドテーブル 120分	16:20 年次学術講演会⑤ 80分 17:40	16:20 年次学術講演会⑩ 80分 17:40
16:00	15:30 研究討論会⑨～⑫ 120分	15:30 研究討論会⑳～㉑ 120分			
17:00	17:30	17:30			
18:00			18:00		

2. 主な行事

1) 第76回年次学術講演会（令和3年9月9日～10日）

講演題数：3, 236題



	H27 中国	H28 東北	H29 西部	H30 北海道	R1 四国	R2 中部	R3 関東
第Ⅰ部門 応用力学、構造工学など	623 編 (13 会場)	628 編 (11 会場)	674 編 (10 会場)	610 編 (12 会場)	448 編 (5 会場)	473 編 —	394 編 —
第Ⅱ部門 水理学、水文学など	240 編 (5 会場)	252 編 (5 会場)	232 編 (4 会場)	223 編 (5 会場)	221 編 (3 会場)	243 編 —	188 編 —
第Ⅲ部門 土質力学、基礎工学など	423 編 (8 会場)	458 編 (9 会場)	529 編 (8 会場)	583 編 (12 会場)	463 編 (6 会場)	478 編 —	364 編 —
第Ⅳ部門 土木計画、鉄道工学など	137 編 (3 会場)	150 編 (3 会場)	158 編 (3 会場)	202 編 (4 会場)	149 編 (2 会場)	183 編 —	163 編 —
第Ⅴ部門 土木材料、舗装工学など	654 編 (13 会場)	670 編 (11 会場)	628 編 (9 会場)	718 編 (16 会場)	621 編 (7 会場)	674 編 —	535 編 —
第Ⅵ部門 建設事業計画、設計技術など	794 編 (15 会場)	929 編 (18 会場)	973 編 (14 会場)	1062 編 (20 会場)	1102 編 (13 会場)	1151 編 —	987 編 —
第Ⅶ部門 環境計画・管理、環境保全など	141 編 (3 会場)	169 編 (3 会場)	195 編 (3 会場)	141 編 (3 会場)	164 編 (2 会場)	112 編 —	93 編 —
共通セッション	282 編 (6 会場)	332 編 (7 会場)	273 編 (4 会場)	504 編 (39 会場)	454 編 (5 会場)	521 編 —	512 編 —
合計	3294 編	3588 編	3662 編	4043 編	3622 編	3826 編	3236 編

2) 研究討論会 (令和3年9月6日～7日) VimeoLIVE 配信
全21題

実施日	番号	委員会名／討論会タイトル	視聴数
9月6日	研01	地震工学委員会熊本地震における建設技術者の応急対応調査小委員会・安全問題研究委員会(共催)／ 突発大災害にレジリエントな地域社会の構築と建設技術者の役割	339
	研02	環境システム委員会／ 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて	212
	研03	複合構造委員会／ プレハブ・プレキャスト工法で創られる未来の社会インフラ像とその課題	405
	研04	コンクリート委員会／ 3Dプリンティング技術を活用した構造物構築に関する現状と展望	340
	研05	ACECC TC21 国内支援委員会／ 災害レジリエンスの構築に向けた分野・部門間協働や意思決定に対し、COVID-19はどのような影響を与えたか？	211
	研06	コンサルタント委員会 市民合意形成小委員会／ ニューノーマルな社会における市民合意形成	196
	研07	建設技術研究委員会／ 土木分野におけるDXの展望	745
	研08	エネルギー委員会／ 1F事故廃棄物・汚染廃棄物対策及びL3廃棄物処分方策の調査報告	161
	研09	土木情報学委員会 三次元モデルを活用した建設生産性向上研究小委員会／ BIM/CIM導入により見えてきた建設生産性向上の課題と方向性	681
	研10	鋼構造委員会／ 鋼構造分野の魅力、将来展開、可能性について	252
	研11	木材工学委員会・木橋研究小委員／ 新しい木質材料 CLT の床版利用を考える	176
	研12	原子力土木委員会／ 原子力安全に係わる分野横断の壁の現状と打開の方向性	181
9月7日	研13	建設用ロボット委員会／ 災害から技術革新へ、建設用ロボットが果たす役割	333
	研14	ダイバーシティ・アンド・インクルージョン推進委員会／ 土木 D&I 2.0: 考えよう、ルーツの多様性で土木界を元気に	238
	研15	インフラメンテナンス総合委員会 新技術適用推進小委員会／ インフラマネジメントに関わる新技術の社会実装の現状とその展望	444
	研16	応用力学委員会／ Beyond AI 時代の土木に向けて ～AIの先にあるもの～	387
	研17	地下空間研究委員会／ 気候変動と地下空間 ～頻発する豪雨災害に対する地下施設への影響とその対応～	196
	研18	JSCE2020 プロジェクト(インフラメンテナンス)／ インフラメンテナンスの更なる展開 ～他分野との連携を通じて描く未来、メンテを通じて何をするの？～	432
	研19	インフラ体力診断／ 日本のインフラの体力を診断する	234
	研20	JSCE2020 プロジェクト(防災)／ 複合・巨大災害の全体像の解明と効率的対応体制の提案に向けて	336
	研21	パンデミック特別検討会／ 新しい価値観によるインフラ技術の垂直展開	325
合計			6,824

3) 基調講演会【VimeoLIVE 配信】

日 時：令和3年9月8日（水） 9：35～10：20

講演題目：これからの暮らし、経済とインフラのビッグ・ピクチャー
～開かれた魅力溢れる土木学会を目指して～

講演者：土木学会 会長 谷口 博昭（（一財）建設業技術者センター理事長）

4) 特別講演①【VimeoLIVE 配信】

日 時：令和3年9月8日（水） 10：50～11：50

講演題目：持続的未來を確かにするグリーンインフラへの展開

講演者：涌井 史郎（東京都市大学特別教授・造園家）

5) 特別講演②【VimeoLIVE 配信】

日 時：令和3年9月8日（水） 13：00～14：00

講演題目：災害派遣医療現場及び新型コロナウイルス感染症の現状

講演者：梅澤 和夫（東海大学医学部総合診療学系救命救急医学並びに
付属病院院内感染対策室 准教授）

6) 全体討論会【VimeoLIVE 配信】

日 時：令和3年9月8日（水） 14：10～15：50

テーマ：新しい生活様式に対応し、市民と協働したインフラづくりに向けて
コーディネーター

福田 敦（日本大学理工学部交通システム工学科 教授）

パネリスト

五十嵐 秀（小田急電鉄（株）常務取締役 執行役員 交通サービス事業
本部長）

坂田 美保子（湘南 NPO サポートセンター 理事長）

佐藤 亮一（神奈川県庁 県土整備局技監兼都市部長）

浜田 紗織（（株）ワーク・ライフバランス 執行役員）

浜田 誠也（パシフィックコンサルタンツ（株）プロジェクトイノベーション事業本部顧問）

7) 国際関連行事

- ・国際ラウンドテーブル【事前登録 VimeoLIVE 配信】

日 時：令和3年9月8日（水） 16：00～18：00

- ・第23回国際ナショナルサマースンポジウム【有料 Live 配信】

日 時：令和3年9月9日（木） 9：30～12：30

令和3年9月10日（金） 9：30～12：30

- ・国際若手技術者ワークショップ【一般視聴不可】

日 時：令和3年9月10日（金） 14：00～17：00

8) オンライン見学会【VimeoLIVE 配信】

日 時：令和3年9月8日（水） 12：00～12：45

- ・箱根登山鉄道（小涌谷付近）の蛇骨陸橋の復旧
- ・国道138号（箱根町仙石原）での洞門の新設

9) 土木主要プロジェクトと土木遺産の紹介【オンデマンド配信】

- ・神奈川県及び周辺地域の土木主要プロジェクト
- ・神奈川県内の選奨土木遺産の紹介

3. 開催状況(Vimeo 配信)

 令和3年度土木学会全国大会実行委員会 委員長 国土交通省関東地方整備局長 若林 伸幸	
実行委員長挨拶	実行委員長挨拶
 第109代土木学会会長/一財建設業技術者センター理事長 谷口 博昭	
基調講演会	基調講演会
 東京都市大学特別教授/倉庫国家 涌井 史郎 様	
特別講演会①	特別講演会①
 東京大学医学部総合診療学系救命救急医学 付属病院院内感染対策室 准教授 梅澤 和夫 様	
特別講演会②	特別講演会②



全体討論会



全体討論会



研究討論会



研究討論会



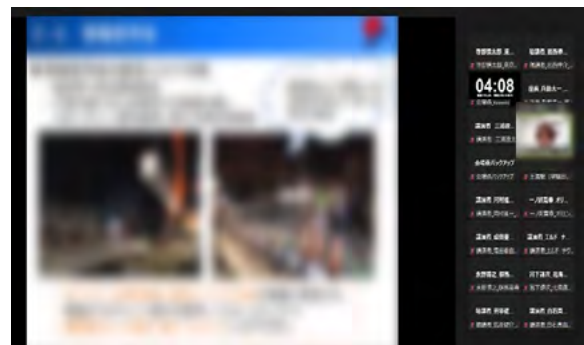
オンライン見学会



オンライン見学会



年次学術講演会



年次学術講演会



準備状況



準備状況（受付）



準備状況（昼食・休憩）



事務局対応状況

◆広報関係

8月18日（水） 記者発表（令和3年度土木学会全国大会記者会見の開催について）

8月23日（月） 記者会見

8月24日（火）

① 日刊建設通信新聞 P1

土木学会[全国大会] インフラの将来像描く／国民の理解、協力不可欠

② 日刊建設工業新聞 P1

土木学会 インフラ将来像提唱へ／9月6～10日[全国大会]

長期的視点で全体俯瞰

9月9日（木）

③ 日刊建設工業新聞 P1

土木学会谷口会長が全国大会で基調講演／新たなインフラ将来像発信
コロナ後の持続的な成長実現へ

④ 日刊建設通信新聞 P1

21年度土木学会全国大会基調講演／インフラのあり方転換を
暮らしと経済の発展に貢献

9月10日（金）

⑤ 日刊建設通信新聞 P1

土木学会全国大会全体討論会／市民協働のあり方議論
企業も地域とともに発展

⑥ 日刊建設工業新聞 P2

涌井史郎氏／土木学会全国大会で特別講演／インフラは「自然と共生を」

⑦ 埼玉建設 P2

土木学会全国大会／谷口会長が基調講演／「インフラの俯瞰図策定を」

9月 7日（火） 記者発表（令和3年度土木学会全国大会について（報告））

9月14日（火） オンライン記者会見

9月15日（水）

⑧ 日刊建設工業新聞

塚田土木学会専務理事 21年度全国大会結果を報告

ビッグ・ピクチャー策定へ／延べ2万6859人が視聴（13日時点）

10月4日（月）

⑨ 港湾空港タイムス

令和3年度土木学会全国大会／オンライン開催で手応え

令和3年度土木学会全国大会 決算

項目	数量	単位	当初予算	決算	備考
I. 事業活動収支の部					
1. 特定資産運用収入					
2. 事業収入					
(1)広告収入					
(2)行事収入					
3. 補助金等収入					
4. 負担金収入					
5. 寄付金収入					
6. 雑収入			2,500,000	0	交流会 + 見学会
7. 繰入金収入			34,500,000	34,500,000	
(1)本部会計繰入金収入			34,500,000	34,500,000	本部交付金
(2)他会計繰入金収入					
事業活動収入計 (A)			37,000,000	34,500,000	
事業費			36,804,000	20,813,641	
1. 業務委託費 (JCD)			15,000,000	6,805,439	
(1)交流会支援業務	1	式	586,500	0	
(2)大会ポスターのデザイン・印刷業務	1	式	349,450	423,100	広報班
(3)案内看板等の製作、設置、撤去業務	1	式	1,321,500	0	
(4)パネル展示支援	1	式	414,000	290,000	展示班
(5)ホームページ作成支援業務	1	式	950,000	1,070,000	広報班
(6)学会会場設営業務	1	式	5,301,400	2,755,800	会場班
(7)運営支援業務	1	式	2,787,000	636,000	会場班
(8)その他諸経費	1	式	686,600	286,600	会場班
(9)コロナ対策	1	式	0	2,830	会場班
(10)オンライン見学会	1	式	0	160,000	見学班
小計			12,396,450	5,624,330	
営業管理費 (10%)			1,239,450	562,433	
合計			13,635,900	6,186,763	
消費税相当額 (10%)			1,363,610	618,676	
※本部予算額調整金(見積差額)			490	0	予算・契約額差額分
業務委託費			15,000,000	6,805,439	
2. 業務委託費 (創文印刷)			0	12,268,722	
(1)全国大会事務局関連	1	式	0	2,583,000	学術部会
(2)学術講演会 Zoom設定・当日運営サポート	1	式	0	8,570,384	学術部会
合計			0	11,153,384	
消費税相当額 (10%)			0	1,115,338	
業務委託費			0	12,268,722	
3. その他			21,804,000	1,739,480	
(1)会場使用料	1	式	9,714,000	100,000	会場班
(2)人件費	1	式	270,000	0	※ 1
(3)印刷費	1	式	300,000	0	※ 1
(4)飲食代	1	式	3,420,000	0	※ 1
(5)バス代等	1	式	500,000	0	
(6)講演者謝金・旅費	1	式	1,000,000	668,222	会場班
(7)臨時雇人給	1	式	5,000,000	0	※ 1
(8)旅費交通費	1	式	1,500,000	0	学生アルバイト
(9)保険料	1	式	100,000	0	学生アルバイト・PC補償等
(10)その他①	1	式	0	0	会場班
(11)その他②	1	式	0	925,058	土木学会関東支部
(12)その他③	1	式	0	46,200	総務班
事業活動支出計 (B)			36,804,000	20,813,641	
事業活動収支差 (C)=(A)-(B)			196,000	13,686,359	
II. 投資活動収支の部					
1. 特定預金取崩収入			0	0	
投資活動収入計 (D)			0	0	
2. 特定預金積立支出			0	0	
投資活動支出計 (E)			0	0	
投資活動収支差額 (F)=(D)-(E)			0	0	
収入合計 (G)=(A)+(D)			37,000,000	34,500,000	
支出合計 (H)=(B)+(E)			36,804,000	20,813,641	
収支差額 (I)=(G)-(H)			196,000	13,686,359	

※ 1 (2)人件費、(3)印刷費、(4)飲食代及び(7)臨時雇人給金額は「2. 業務委託費 (創文印刷)」に内訳に含む

証

土木学会令和 3 年度全国大会運営業務

執行金額について監査したところ

正確であると認めました。

令和 3 年 11 月 19 日

土木学会全国大会実行委員

監査役 永 矢 貴 之

監査役 三 澤 孝 史

BP検討体制

国交省

国土形成計画
社会資本整備重点計画

JAPIC

国土・未来プロジェクト

その他

関連団体の提言・報告等
産業界へのヒアリング

有識者等の未来予想

有識者や支部の学会員の方々が考える未来の姿
必要な事業・プロジェクト

地域に即した意見の収集と
専門的見地からの提案

支部(支部WG)

「コロナ後の土木のビッグピクチャー」 特別委員会

委員長：谷口会長

幹事会

特別委員会全体のマネジメント
議論の展開・方向性の整理

議論への参画

将来インフラWG プロジェクト・インフラ

視点・キーワード

コンテストWG 市民の考える将来像

支部WG プロジェクト・インフラ

学会の過去の提言・調査

- ・ 22世紀の国づくり
- ・ 100周年宣言
- ・ 社会と土木の100年ビジョン
- ・ 論説・オピニオン
「50年後の国土への戦略」

学会内の関連活動の反映

- ・ パンデミック対策総合検討会
- ・ 豪雨災害対策検討会
- ・ インフラメンテナンス総合検討会
- ・ 日本インフラの体力評価

計画学委員会

相互連携・反映

JICE

社会資本に関する
インターネット世論調査

CE

インフラの長期計画の
推移と投資額調査

特別委員会の アウトプット

- ・ 精緻でなくとも、
多くの国民がサポートする
信頼のある将来見通し
- ・ 具体的なプロジェクトに
基づく全体・俯瞰的な
将来像

JSCE

「コロナ後の土木のビッグピクチャー」特別委員会

構成	氏名	
委員長	谷口 博昭	会長
副委員長	屋井 鉄雄	副会長
副委員長	石田 東生	
	水谷 誠	日建連

構成	氏名	
委員	堀田 昌英	建マネ委委員長
委員	大西 正光	建マネ委幹事長
委員	高橋 秀	コンサル委委員長
委員	今井 敬一	コンサル委幹事長
委員		建設技術委
委員		建設技術委
委員		計画学委
委員		計画学委

コンテストWG

構成メンバー	氏名	
委員長	谷口 博昭	
委員	家久 冬萌	若手PU
委員	谷 彩音	
委員	塚田 幸広	
委員	濱 慶子	若手PU
委員	福田 大輔	
委員	福田 敬大	
委員	堀口 智也	若手PU
委員	湯浅 岳史	

BP支部WG

構成メンバー	氏名	
北海道	岸 邦宏 茂木 秀則	北大 札幌市
東北	原 祐輔 水谷 大二郎 大竹 雄	東北大
関東	藤山 知加子 玉嶋 克彦	横国大 大成建設
中部	中村 晋一郎	名古屋大
関西	勝見 武	京都大
中国	小野 祐輔	鳥取大
四国	荒木 裕行 水本 規代	香川大 (株)sorani
西部	日高 保	福岡県
委員	塚田 幸広	

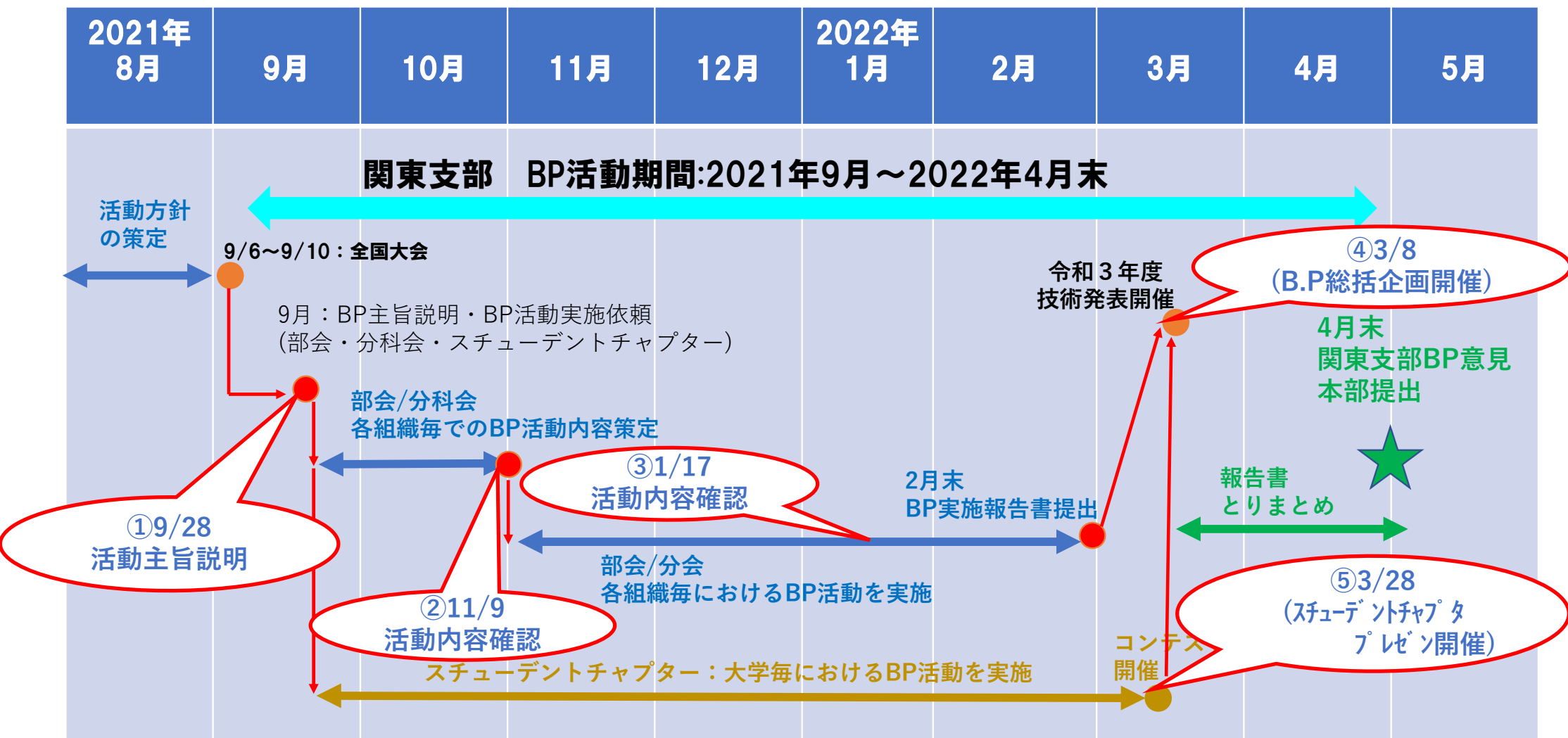
5/16

会長特別プロジェクト「土木のビックピクチャー」活動報告

【報告概要】

- ・ 支部内B.P活動：3月末、支部・分会活動は終了 (資料.2枚目)
- ・ 現在：最終成果物を作成中
- ・ 最終成果物：
 - ①概要書 4月末提出済 (添付資料.1)
 - ②総括地図 5月末提出予定
 - ③本編 (支部W.Gまとめ) 5月末提出予定
- ・ 成果物概要：活動内で抽出されたB.Pに関するキーワードを4つの観点に分類し、絵姿を策定 (資料.3枚目)

【2.関東支部BP実施スケジュール】



関東支部ビッグピクチャー（BP）WG成果概要（案）

東京ビッグピクチャー

～ 4つの視点から想定した100年後の未来～

成果の概要（案）

- 各部会・分会で実施した活動での意見・キーワードを抽出：資料1参照
- 「防災・環境問題」、「新分野との融合」、「既存インフラの活用」、「人流・地域活性化」の4つに分類
- 縦軸を具体性の程度（具体的～抽象的）、横軸を時代とし、ビッグピクチャーをゾーニング：資料2参照
- 関東支部の将来のビッグピクチャーとして地図に記載：資料3参照

【活動内容概要：①部会】

部 会 名	B.P活動内容	意見・キーワード
企画部会	企画部会内の意見交換 徴収した意見を絵姿の 取り纏め	50年後,100年後の時間軸でBPを描く 50年後：グリーンインフラ,再生可能エネルギー, 100年後：メガフロート,AIを活用したインフラ整備,宇宙開発
技術情報部会	講演会の開催 講演会受講者アンケート 徴収	環境インフラ整備が必要 デジタルを融合したインフラ整備が必要 アンケート結果では、「循環型社会」「国土強靱化」「再エ ネルギー」のインフラ整備への優先度が高い
交流部会	若手技術者交流サロン 内での BP企画開催	少子高齢化・激甚災害・気候変動に対する インフラ整備が必要 例：スマートシティ,防災シェルター,再エネルギー施設 交通・物流インフラの整備が必要 例：大深度トンネル,リニア,エアモビリティ,浮体式橋梁
広報部会	部会内でのBP討議 子供向けイベント内の BP企画	防災インフラ 例：台風制御システム, 津波の全自動防波堤 都市・交通インフラ 例：雨にぬれないまち(地下都市),アクアトンネル 等

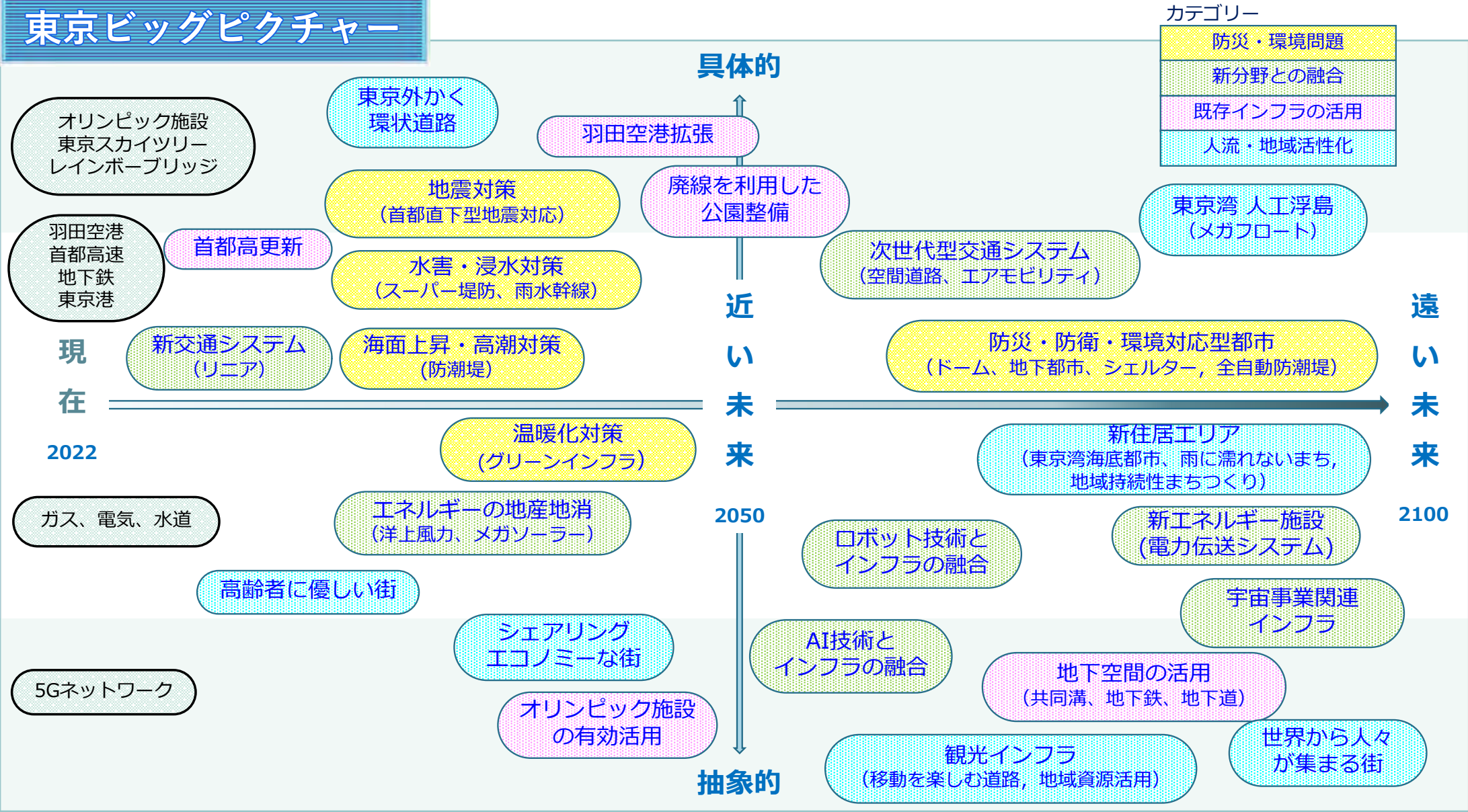
【活動内容概要：②分会】

分会名	B.P活動内容	意見・キーワード
新潟会	県内有識者(専門外含)参画による討論会開催	新潟独自の強みを活かしたインフラ整備 例：歴史・文化資源を生かした暮らしやすいまち作り 個人の多様性・自由を尊重した社会形成 例：離島の持続性、豪雪山間地域で暮らせるまち等
群馬会	若手技術者・学生を中心としたワークショップ開催	道路インフラ：利根川橋梁増加, 自動運転, 屋根付き自転車専用道路, 電力伝送システム エネルギー：バイオマス, 小水力発電,
栃木会	産官学を集めた意見交換会	DX技術・ICTを活用した地域中小建設業の持続性確保
茨城会	部会内の討論会を開催	つくばEXの延伸, 常磐道-東北道延伸, 大型客船誘致 茨城空港拡張, IR誘致, 首都機能移転(遷都) 防潮堤を活用した「常磐自転車道」建設による 茨城の観光都市化等
山梨会	学生・山梨会幹事・大学教員によるワークショップ開催	ワイナリー×自動運転 山梨の地域資源を活用した地域インフラを整備

【活動内容概要：③スチューデントチャプター】

B.P活動内容	参加者	意見・キーワード
学生が考える ビックピクチャー の発表	SC桜泉 (日本大学生産工学部)	自動運転による電気自動車専用道路の提案 AI搭載車両 による道路ザグ部の把握 渋滞解消を目的に 東京湾上の専用道路 の建設
	ChuoT (中央大学)	手賀沼における新たな水資源インフラの提案 手賀沼の水質改善による 環境保全 、 水辺空間 や 流域資源の有効活用 による 人口再流入・地域創生
	ChuoC (中央大学)	お寺や神社の敷地 を利用した 防災・減災対策 地域に点在する寺社を効果的に 防災拠点 として活用
	日本大学理工学部A	道路空間を中心とした 脱炭素社会 東京 空の交通 を整備、 地下道路建設 交通の多重化 による脱炭素社会の実現
	日本大学理工学部B	東京の都市機能分散 8つの中枢都市に分散化整備 都市間の移動は リニア推進
	中央WEMJ (中央大学)	未来のストレスフリーな通勤通学 船舶やレンタサイクルを利用下 新交通システムの構築

東京ビッグピクチャー



関東支部 ビッグピクチャー

将来絵姿コンセプト

「防災・環境問題」「新分野との融合」
「既存インフラの活用」「人流・地域活性化」
の観点から関東地方のあるべき姿を描く



I. はじめに ー主査コメントー (1/2～1 ページ)

今回、関東支部ではビッグピクチャー（以下 BP）WG をどのように進めていくべきか、支部長をはじめとした支部幹部で検討を重ねた。関東支部では部会と呼ばれる組織で例年支部活動を行っている。また、一都三県以外の地域においては分会（新潟、群馬、栃木、茨城、山梨）と呼ばれる県を単位とした活動組織も存在する。検討の結果、この既存の組織を中心に BP の活動を進めることが方針として決定された。BP 活動を始めると、何を行うべきなのか、どのような成果を出すべきなのか、そのような質問が皆から上がった。「地域の将来を自分たちで考える」「あって欲しい将来のインフラ施設を考える」「日本がどのような社会であって欲しいかを考える」このような抽象的な言い方では、具体的に何をすべきか当初は誰もが想像できなかった。「成果は問わない」、「成果よりプロセスを重視」、「活動形式は自由」そんな曖昧な指示のもと、関東支部の BP 活動は始まった。部会では例年、市民や会員に向けての講演会やワークショップの機会を提供してきている。今年度はその中に BP を落とし込んで多くの活動が行われた。市民向けの無料講演会を行い、市民に向けての BP の発信もできた。支部は市民と土木学会をつなぐ大きな役目を担っている。この BP 活動でも市民と学会をつなぐ役割も果たせたと感じている。また、各県の分会には、地域の抱えている課題や地形的な特徴を踏まえながら BP を考えてもらった。土木分野以外の人に話を聞いたり、大学生主体のワークショップを行ったりと、様々な活動が行われ、多くの BP が提案された。BP と言えばハードのインフラ施設を想像しがちであったが、インフラを使用する市民の生活やコミュニティに焦点を当てた BP の議論を行った分会もあった。ハードのインフラのみならず、そのインフラを使用する市民の目線に立った考え方を議論することができたことは、今回の活動の大きな収穫であった。土木学会が BP を考えるうえで、何に重きをおくべきなのか。土木技術者として何をを中心に考えるべきなのか。今回の活動の中で様々な議論が起こった。その中で多くの賛同を集めたのは、「自然災害の多い日本では、やはり国民の安全・安心を守るべきことが、土木に携わる我々の使命ではないか」という意見であった。「安心安全を提供すること、まずそれが土木の基本ではないか」と。このような、土木技術者のあり方を考えるような議論が起こったことも、特筆すべきことであったと感じている。さらに、環境問題、エネルギー問題、都市問題など、様々な課題を土木技術者としてどのように解決していくべきかについて多くの議論がなされた。特に首都東京については、既にインフラが成熟しており、一極集中の緩和や通勤ラッシュ、交通渋滞、高齢社会への対応などの身近な問題の解決も求められている。このような中、BP は単一的なものではなく、時代とともに変化する社会の問題と合わせて検討することが望ましいと考え、現在から 100 年先まで時間軸を動かし、議論した。時間軸を考えることで、喫緊の課題が何か、その解決策として何が必要なのかが浮き彫りになった。また、遠い未来においては解決策としての BP だけでなく、観光インフラ、例えば「道路を必要としないエアーマビリティ」やアニメで描かれるような未来都市など、現時点において実現性は低い「世界都市東京」を描くための夢のある BP も考えられた。

BP 活動を支部で行って、改めて自分の将来を考えることの大切さを痛感した。将来と一言でいっても、10 年後から 100 年後、それ以降と様々な将来がある。いつ、どのような技術が実用化されるかは誰にも想像できない。しかし、自分たちに何が必要かを考えることなくして、自分たちの将来は作れないとも実感した。「将来のありたい姿を考えること、その将来に向かって自分は何ができるかを考えること」は、本当に大切であると実感した。今回の関東支部の活動は、今までの支部活動の中に BP を落とし込んだものであった。これは今後、BP 活動を支部で継続していくためにはとてもよい進め方であった。今後も、学会員、学生会員、市民など多くの人に参画していただき、BP 活動を継続させていきたい。

II. 関東支部ビッグピクチャーの成果概要

1) 支部活動の取り組み概要

関東支部は、7つの部会、1つの委員会並びに、5つの分会で構成されている。各組織の多面的な観点で取り組むことが望ましいと考え、各々で自由に活動内容を企画・実施してもらい、2021年度末に関東支部としてのビッグピクチャーをとりまとめた総括的な報告会を開催した。また将来を担う学生の自由で柔軟な発想を求め、スチューデントチャプターにも参画を募った。

a 各分会・部会での活動内容

関東支部全組織の内、5つの部会（企画部会・技術情報部会・学術研究部会・広報部会・交流部会）と5つの分会（新潟会・山梨会・群馬会・栃木会・茨城会）が参画し、個別に活動を実施した。

【各部会・分会毎で実施した主な活動内容】

- ①各部会・分会グループ内での討議・座談会の開催
- ②見識者による講演会開催と講演会出席者へのアンケート収集
- ③若手交流サロン、ワークショップの開催、子供向けイベント内の企画の開催 等

【スチューデントチャプターでの主な活動内容】

2つの大学（日本大学・中央大学）内の5つのグループでプレゼンテーションの実施。



写真-1：総括報告会開催状況

2) 地域の将来像、絵姿

a 地域の将来像

地域の将来についてあるべき姿の意見として、①地域資源を活用したインフラ整備・地域創生、②首都圏・重要施設とのネットワーク連携強化、③個人の多様性・自由を配慮したインフラ整備等の意見があがった。以下、各組織（部会/分会/スチューデントチャプター）であがった意見を述べる。

【地域の将来像としての意見】

企画部会：50年後、100年後の時間軸でBPを描く（グリーンインフラ、再生可能エネルギー等）

技術情報部会：「循環型社会」、「国土強靱化」、「再生可能エネルギー」を優先したインフラ整備

交流部会：少子高齢化・防災減災対策・気候変動に対するインフラ整備や、交通・物流インフラの強化

広報部会：防災減災対策・都市交通インフラ整備の強化

新潟会：新潟の特徴・独自の強みを生かしたインフラ整備、個人の多様性・自由を尊重したインフラ整備

群馬会：交通インフラの強化、エネルギーの地産地消を図ったインフラ整備

栃木会：持続的なインフラ整備をするための地域建設業の持続性確保・新技術導入推進・技術の継承

茨城会：地理的特徴・歴史的特徴を生かしたインフラ整備・茨城の観光都市化

山梨会：地域資源を活用したインフラ整備・全国地方都市に対しモデルケースとなるような整備

スチューデントチャプター：自動運転による新交通システム構築、地域資源を活用した観光産業振興

b 地域の将来像

地域の将来像に関する概要を「防災・環境問題」、「新分野との融合」、「既存インフラの活用」、「人流・地域活性化」を4つの観点から分類した。縦軸を具体性の程度、横軸を時代とし、関東地域の絵姿を区分し、将来関東地域であるべき絵姿の方向性を分析した(図-1 参照)。

【近い未来 2050】

関東地域は、戦後から高度経済成長期、さらに現在へと様々な社会インフラが整備され、現在は東京オリンピック 2020 の開催もあり、成熟された状態だとも言える。一方、近年の地震や水害などの激甚災害・気候変動への対応、持続可能なエネルギーの供給問題、人口減少・高齢社会問題など、喫緊に対応すべき課題が浮かび上がった。

これらは近い将来(2050 年)にまでに整備

したい絵姿である。図-1 では、防災・環境問題(黄色ハッチ)は具体性が高く実現性が高いものの、人流・地域活性化(青色ハッチ)はバリアフリーやシェアリングエコノミーなどは抽象的な絵姿と区分され、実現化に向けた検討が必要であると考えられた。

【遠い未来(2100 年)】

2050 年までに喫緊の社会問題に対するインフラは整備されるが、一方で、社会構造の変化に伴い、既存地下空間やオリンピック施設の有効活用など、「既存インフラの活用(赤色ハッチ)」が必要になる。さらに遠い未来(2100 年頃)になると、AI やロボット技術、次世代型交通システム(空間道路)、宇宙事業など、まさに未来の「新分野との融合(緑色ハッチ)」に関する絵姿が考えられた。また、メガフロート、海底都市、ドーム・地下都市など、アニメに描かれた未来都市を想像させる絵姿では、都市自体を観光として楽しめるインフラと捉え、世界から人々が集まる街にしたいと考えられた。しかし、これら「新分野との融合(緑色ハッチ)」や「人流・地域活性化(青色ハッチ)」に関する絵姿は未だ抽象的であり、今後の検討が期待される内容である。

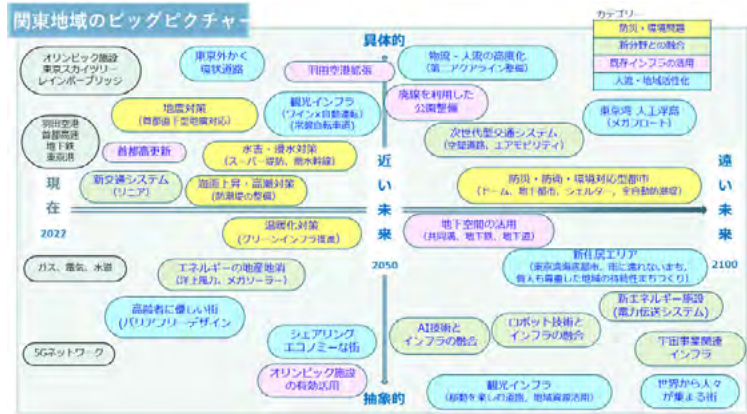


図-1: キーワードゾーニング一覧

3) それを支える土木、インフラ(絵姿を描くために必要な具体的インフラ

以下に、4つの観点から将来の関東地域に必要な具体的な土木、インフラを記す

- ①防災・環境問題: スーパー堤防、防潮堤、グリーンインフラ、ドーム型都市、地下都市、防災シェルター
- ②新分野との融合: リニア新幹線、洋上風力、メガソーラー、ロボットや AI 技術活用、宇宙関連事業
- ③既存インフラとの活用: 首都高更新、羽田空港拡張、オリンピック施設の活用、地下空間の有効利用
- ④人流・地域活性化: ユニバサールデザイン、シェアリングエコノミーなまちづくり、観光インフラの強化

4) 今後の検討課題

関東支部地域におけるビッグピクチャーを実現するためには、官学民が各々の意見・発想・技術を持ち合い、問題・課題の解決や社会構造の変化に対応すべく検討を重ねる必要がある。また今回のビッグピクチャーが、一過性の絵姿にとどまらず、時代に応じた絵姿になるよう描きなおすことが重要である。今後も取り組みを継続的に実施していくことを期待したい。

III.開催記録

5) 参加者名簿

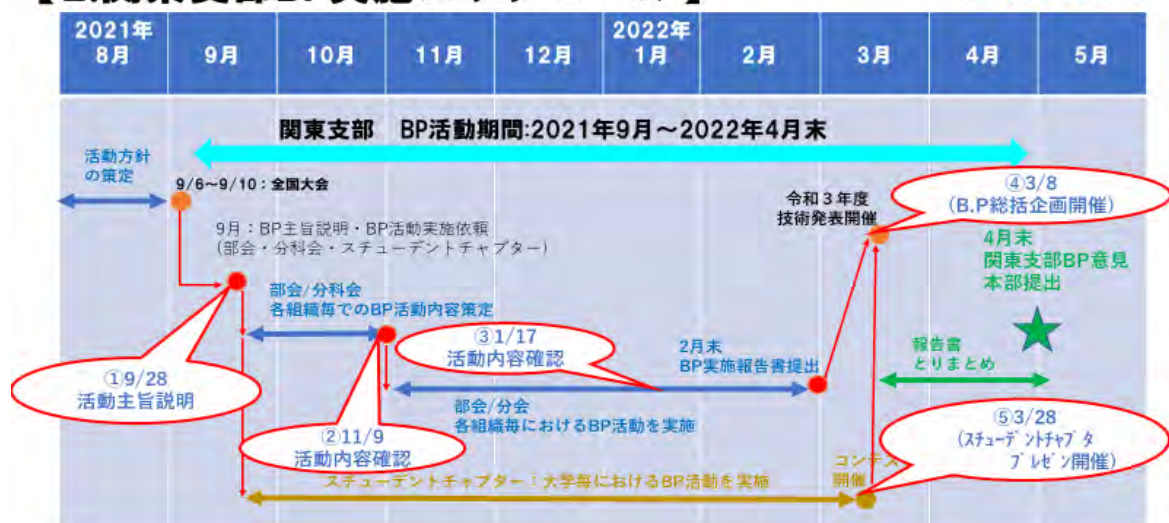
関東支部 : 檜山支部長
企画部会 : 岩住幹事長 玉嶋副幹事長
技術情報部会 : 山浦主査
交流部会 : 永井主査
広報部会 : 大高主査
新潟分会 : 紅露運営幹事
群馬分会 : 平川運営幹事
栃木分会 : 末武運営幹事
茨城分会 : 車谷運営幹事
山梨分会 : 武藤運営幹事
学生リーダー : 藤山運営幹事

6) 開催履歴

- ①2021年9月28日：活動内容主旨説明、各部会・分会毎の活動内容に関する策定の依頼
- ②2021年11月9日：各部会・分会の提案内容発表と確認
- ③2022年1月17日：各部会・分会活動内容の確認及び、ビッグピクチャーに関する討論
- ④2022年3月8日：各部会・分会での最終活動内容報告、ビッグピクチャーに関する総括討論
- ⑤2022年3月25日：学生リーダーによるビッグピクチャーに関する報告会開催
(詳細：添付資料-1 参照)

【2.関東支部BP実施スケジュール】

(添付資料.1)



第23回「土木のある風景」写真コンテスト受賞者

最優秀賞：題名「メカニカルアート」外川俊行

撮影場所：静岡県御殿場市竈



優秀賞：題名「深秋落日（しんしゅうらくじつ）」栗原正隆

撮影場所：近畿日本鉄道吉野線吉野川橋梁



優秀賞：題名「クロスアーチ」 福田尚人

撮影場所：熊本県上益城郡 通関橋



佳作：題名「青く凍る」 長谷薫

撮影場所：小樽市小樽運河 中央橋



佳作：題名「憩いの地」丸山賢治

撮影場所：愛知県北設楽郡設楽町



佳作：題名「大渦と夢の懸け橋」Claudias Lai

撮影場所：徳島県鳴門市

